

概要 - 日本語

PRIMEQUEST 4000 Series

REMCS

2025年06月版版
CA92344-5480-03

ご意見…ご要望…修正…

このマニュアルについてのご意見・ご要望をお聞かせください。フィードバックにより、お客様個々のニーズに合わせてマニュアルを最適化することができます。

ご意見・ご要望は、お気軽に電子メールで
manuals@ts.fujitsu.com までお送りください。

ISO 9001 および ISO 27001 に準拠したドキュメントの作成

高い品質と情報セキュリティ基準に確保されるように、このマニュアルは、ISO 9001 および ISO 27001 に準拠した cognitas の品質管理システムの規定と情報セキュリティマネジメントシステムを満たすように作成されました。

Etteplan Germany GmbH | www.etteplan.com

著作権および商標

著作権 2025 Fsas Technologies Inc.

All rights reserved.

お届けまでの日数は在庫状況によって異なります。技術的修正の権利を有します。

使用されているハードウェア名およびソフトウェア名は、各社の商標です。

目次

1 はじめに	6
1.1 このマニュアルの対象ユーザ	6
1.2 その他のドキュメント	6
1.3 本書の表記	7
2 REMCS サービスの概要	9
2.1 REMCS 連携の概要	9
2.1.1 REMCS 機能を実現するコンポーネント	10
2.1.2 REMCS 機能のインストール	11
2.1.3 REMCS 機能でサポートされる接続形態	12
3 REMCS サービスを利用する前に	13
3.1 PRIMEQUEST 4000 から REMCS への REMCS 通信パス	13
3.2 REMCS センターへの接続	16
3.3 REMCS センターへの接続形態	17
3.3.1 インターネット接続（メール）	17
3.3.2 P-P 接続（ISDN/VPN：メール）	18
3.4 日本語への切り替え	21
4 REMCS サービス開始手順	22
4.1 開始手順の概要	22
4.2 REMCS センターへのレジストレーション	25
4.2.1 REMCS の開始	25
4.2.2 接続先 REMCS センターの設定	27
4.2.3 環境設定 - 初期設定	28
4.2.4 定期接続スケジュール設定	34
4.2.5 お客様情報の設定	36
4.2.6 レジストレーション結果確認	41
4.2.7 接続確認	42
4.3 レジストレーション情報のインポート	44
4.4 S/MIME 形式証明書の入替と検証	48

4.5 REMCS 設定のインポートおよび自動レジストレーションに関する注意事項	50
5 REMCS サービス操作手順	54
5.1 REMCS 操作の手順概要	54
5.2 レジストレーション	57
5.2.1 再レジストレーション	57
5.2.2 お客様情報の更新	59
5.3 環境設定	62
5.3.1 接続情報設定	62
5.3.2 定期接続	64
5.3.3 設定情報エクスポート	65
5.3.4 接続形態の変更	66
5.3.5 証明書の表示	67
5.3.6 証明書の入れ替え	69
5.3.7 前証明書への復元	71
5.4 接続	72
5.4.1 接続確認	72
5.4.2 センター接続一時停止	74
5.4.3 センター接続再開	75
5.5 サポート情報	76
5.5.1 ハード構成情報送信	76
5.6 REMCS メニューの終了	77
6 REMCS サービスの詳細設定（CE 操作メニュー）	78
6.1 REMCS サービスの詳細設定 - 概要	78
6.2 環境詳細情報	80
6.3 接続先 REMCS センター	86
6.4 日本語/英語切替え	87
6.5 装置名表示の切替え	88
6.6 個人情報削除	89
6.7 SSL 証明書の表示	90
6.8 接続センターリストの入れ替え	91
6.9 REMCS CE メニューの終了	92

7 iRMC のログ収集について	93
8 REMCS メッセージ	94
8.1 REMCS 画面のメッセージ	95
8.2 通信エラーメッセージ (SMTP 通信)	134
8.3 その他のエラーメッセージ	138
9 REMCS GUI 使用上の注意点	139
9.1 REMCS GUI を使用するためのプライバシー設定	139
9.2 シングルユーザーアプリケーション	140
9.3 外部タイムゾーンの変更	141

1 はじめに

1.1 このマニュアルの対象ユーザ

本マニュアルの対象読者は、ハードウェアとソフトウェアの基本的な知識を有する、システム、ネットワーク管理者、サービス技術者です。

1.2 その他のドキュメント

PRIMEQUEST 4000 の詳細は、以下のドキュメントなどに記載されています。

- 『PRIMEQUEST 4000 シリーズ iRMC S6 コンセプトとインターフェース』
- 『PRIMEQUEST 4000 シリーズ iRMC S6 Web インターフェース』
- 『PRIMEQUEST 4000 シリーズ iRMC S6 コンフィグレーションとメンテナンス』
- 『PRIMEQUEST 4000 シリーズ iRMC S6 オペレーティングマニュアル』
- 『PRIMEQUEST 4000 シリーズ iRMC S6 RESTful API』
- 『PRIMEQUEST 4000 シリーズ BIOS セットアップユーティリティリファレンスマニュアル』



PRIMEQUEST ハードウェアおよび ServerView ソフトウェアのすべてのドキュメントは、[サポートページ](#)からオンラインで入手できます。

PRIMEQUEST のドキュメント一式は、DVD ISO イメージとしてダウンロードすることもできます。

1.3 本書の表記

以下の表記規定を使用します。

表記	説明
	健康上のリスク、データの損失やデバイスの損傷の可能性があるさまざまな種類のリスクを示します。
	追加関連情報とヒントを表示します。
太字のテキストおよびかぎ括弧（「」）	インターフェース要素の名前を示します。
等間隔表示	パスおよびファイル名など、テキストブロック内で出力やシステム要素を示します。
等間隔表示	テキストブロックの外側にキーボードを使用して入力するコマンド、システム出力、構文および命令文を示します。
monospace semibold (太字の等間隔表示)	キーボードを使用して入力する命令文の処理例を示します。
青字の文字列	関連するトピックへのリンクを示します。
ピンクの文字列	すでに表示したリンクを示します。
<文字>	実際の値に置き換える必要のある変数を示します。
[文字]	オプション（構文）を示します。
[key]	キーボード上のキーを示します。大文字のテキストを入力する場合、[Shift] キーを指定します。たとえば、A を入力する場合 [Shift] + [A] キーを押します。2 つのキーを同時に押す場合は、2 つのキーをプラス記号で連結して示します。
かぎ括弧（「」） 二重かぎ括弧（『』）	かぎ括弧（「」）は、章の名前を示します。二重かぎ括弧（『』）は、他のマニュアル名などを示しています。

テーブル 1: 本書の表記

画面

いくつかの画面はシステムに依存しているため、表示される詳細はシステムによって異なります。メニューオプションとコマンドには、システム固有の違いがある場合があります。

2 REMCS サービスの概要

この章では、REMCS サービスの概要について説明しています。

REMCS は、PRIMEQUEST 4000 シリーズと Fsas Technologies のお客様総合サポートセンターである REMCS センターをインターネットまたは P-P（ポイント・ツー・ポイント）接続経由で接続し、サーバの構成情報を送信し、障害発生時の自動通知を行うことで、迅速なトラブル対応および解決を目的とするものです。



REMCS サービスを受けるためには、該当するサービス契約を Fsas Technologies と締結する必要があります。契約していない場合、REMCS センターへの登録（レジストレーション）はできますが、サービスを受けることはできません。サービスの詳細については、製品を購入された際の販売会社、または担当営業員に確認してください。

2.1 REMCS 連携の概要

REMCS エージェントは、iRMC と連携し、パーティション上の資源情報や異常を REMCS センターに通知する機能です。PRIMEQUEST 4000 シリーズのシステムのエラー情報やログ情報などを、インターネットまたは P-P（ポイント・ツー・ポイント）接続により REMCS センターに通知します。

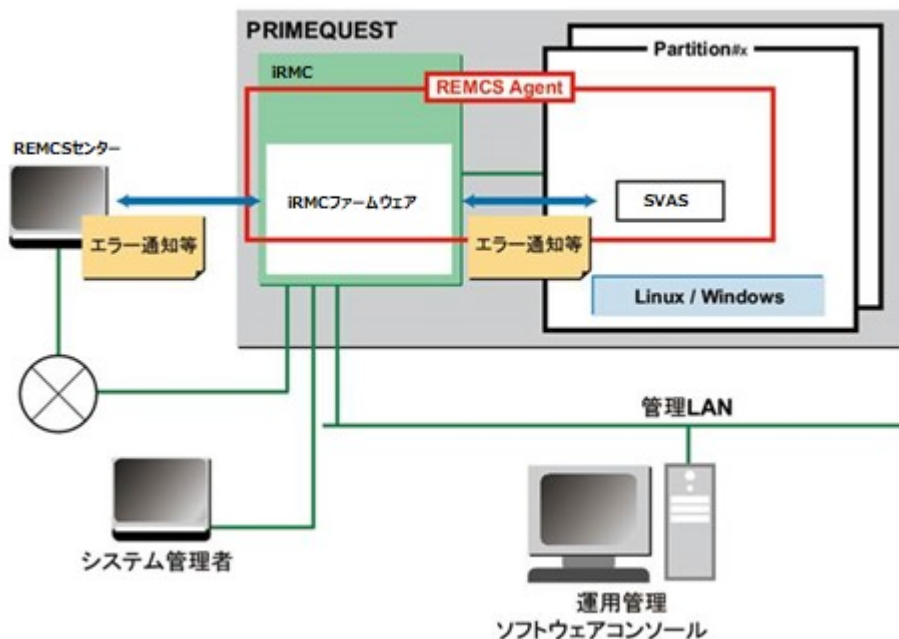


図 1: REMCS 連携

PRIMEQUEST 4000 シリーズの REMCS エージェントは、iRMC ファームウェアと、各パーティションにインストールされる SVAS により構成されます。10 ページの REMCS 連携の図に示すように、RMC ファームウェアはシステム全体の異常を監視し、異常を検出すると REMCS センターに通知します。SVAS は、パーティション上の OS が検出したハードウェア異常情報およびハードウェア構成情報を、RMC ファームウェア経由で REMCS センターに通知します。

2.1.1 REMCS 機能を実現するコンポーネント

PRIMEQUEST 4000 シリーズでの REMCS 機能は、以下のコンポーネントで実現されます。

- iRMC
サーバ全体のハードウェア構成情報収集、異常監視および REMCS センターへの通知。
- SVAS
パーティションで認識される PCI カード および SCSI 装置の構成情報収集や異常監視。

構成情報監視

ハードウェアの構成変更を検出して、最新の構成情報を REMCS センターに通知します

障害通知

サーバのハードウェア異常が発生した場合には、自動で REMCS センターに異常を通知するとともに、ログなどの障害情報を REMCS センターに転送します。ハードウェア異常検出による通知後、同一ユニットで事象が発生した場合、REMCS センターへの通知は抑止されます。SVAS が検出した事象については、OS リブートや SVAS が停止・再起動された場合にも解除されます。通知抑止中に同一箇所でも抑止中の事象よりも通知レベルの高い異常が発生した場合には、抑止時間内でも通知されます。このときは抑止時間を 0 にクリアし、通知抑止は継続されます。SVAS には、抑止時間に関する処理はなく、通知レベルの高い異常が発生するか、事象がクリアされるまで、異常通知を抑止します。

定期接続

あらかじめ設定した時刻に自動的に REMCS センターに接続し、通信パスおよび REMCS エージェントの存在を確認します。

2.1.2 REMCS 機能のインストール

PRIMEQUEST 4000 シリーズの REMCS 機能は、iRMC と、パーティション側にインストールする SVAS オプションによって構成されます。

iRMC へのインストール

iRMC の REMCS 機能は標準搭載されており、インストールの必要はありません。

HBA 閉塞機能（Linux：RHEL の場合のみ）のインストール

新規インストールの場合

SVIM による OS インストール時に、HBA 閉塞機能（Linux：RHEL の場合のみ）をインストール対象として選択することでインストール可能です。

SVIM を使用しない場合

Fsas Technologies 公開ページより以下のパッケージをダウンロードし、添付の README に従ってインストールします。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/download/4000/>

2.1.3 REMCS 機能でサポートされる接続形態

PRIMEQUEST 4000 シリーズは以下に示す接続形態のみをサポートします。いずれの接続形態も、REMCS センターとの通信に SMTP のみを使用します。

- インターネット接続（メール）

この接続形態では、REMCS センターとの通信はインターネットを介して実行されます。

- P-P 接続（ISDN/VPN：メール）

この接続形態では、REMCS センターとの通信は、ISDN 回線または VPN などの回線を使用する P-P システムを使用して実行されます。



日本の場合のみ：

- ISDN サービスは 2024 年 1 月に終了します。それ以降、ISDN 上の接続はサポートされなくなります。
- P-P 接続を使用するに場合は、ISDN の代わりにセキュア回線サービスがご利用いただけます。セキュア回線サービスにつきましては当社営業担当者にご確認ください。
- セキュア回線サービスをご利用になる場合、接続形態は「P-P 接続（VPN：メールのみ）」を選択してください。

3 REMCS サービスを利用する前に

3.1 PRIMEQUEST 4000 から REMCS への REMCS 通信パス

図13 ページの REMCS ネットワークの構造は、PRIMEQUEST 4000とREMCSとの接続経路を示した構成図です。

- PRIMEQUEST 4000とREMCSとのLAN接続は、SBからMLANUのユーザポート、もしくはREMCSポートを経由して接続できます。
- ユーザポートのLANはSBに2ポート設けられています。Bonding により二重化が可能です。二重化により、MLANU#0およびMLANU#1のユーザポートを経由してREMCS接続が可能となります。
- 一方、REMCSポートのLANは一重化となります。

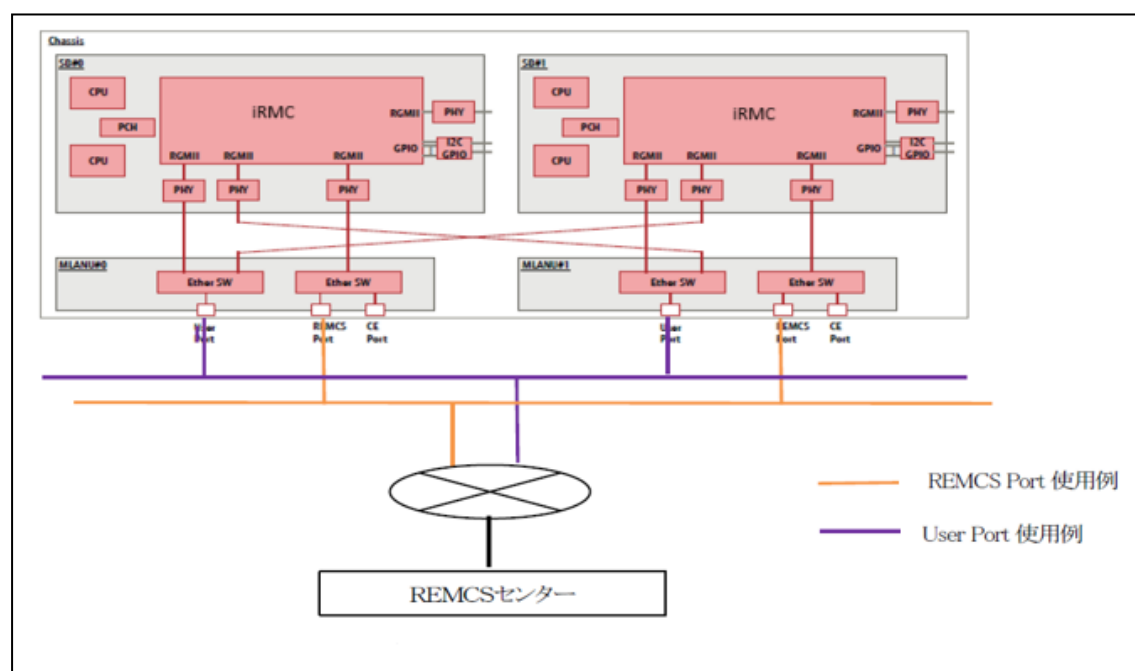


図 2: REMCS ネットワークの構造

REMCS 接続設定をするにあたり、以下について注意してください。

- REMCS との接続を REMCS ポート経由で行う場合、かつ
 - 装置に 2 枚の SB が搭載されている場合、REMCS 接続用の LAN ケーブルは、MLANU#0 および MLANU#1 の REMCS ポートに接続してください。
 - 装置に SB が 1 枚のみ搭載されている場合、REMCS 接続用の LAN ケーブルは SB 番号と同じ番号の MLANU の REMCS ポートに接続してください。
- REMCS との 接続をユーザポート経由で行う場合、
 - SB 番号と同じ番号の MLANU のユーザポートに LAN ケーブルを接続してください。
 - REMCS との接続を User Port 経由で行う場合、かつ User Port の Bonding を Enable に設定している場合、MLANU#0, MLANU#1 の User port に LAN ケーブルを接続してください。
- ユーザポートのネットワークセグメントと REMCS ポート（CE ポート）のネットワークセグメントは必ず分けてください。
- 非Home SBとFree SB に関する注意点：
 - User Port を使用した REMCS 接続の場合、非Home SB/Free SB から REMCS 通知することができません。
 - もし Home SB のダウンを非Home SB/ Free SB から通知させるには、REMCS Port を使用する必要があります。

REMCS 通知を送信する担当 SB

PRIMEQUEST 4000 は、以下のタイミングで、ハードウェア構成情報を REMCS センターに送信します。

- A. レジストレーションを実施する時（レジストレーションイベントのハードウェア構成情報を含む）
- B. REMCS GUI からハードウェア構成を送信する時
- C. ハードウェア構成の変更を定期的にチェックし、変更を検出した時

2 パーティション構成の場合、**A** と **B** は REMCS-GUI を操作している iRMC から REMCS にハードウェア構成情報を送信します。

同様に **C** は、SB#0 の iRMC から装置全体のハードウェア構成情報を送信します。

ただし、SB#0 の iRMC が故障の場合、SB#0 の iRMC が復旧するまで REMCS センターへの送信は行われません。

15 ページの REMCS にハード構成情報を送信する SB の表に、どの REMCS SB ポートから REMCS に通知するかを示します。

PRIMEQUEST 4000 の状態			REMCS にハード構成情報を送信する SB		
パーティション構成	SB #0	SB #1	A	B	C
1	実装 (iRMC 正常)	未実装/Free SB/非 Home SB	SB #0	SB #0	SB #0
	Free SB/非 Home SB	実装	SB #1	SB#0 *2)	SB#0 *2)
	未実装	実装	SB #1	SB #1	SB #1
2	実装 (iRMC 正常)	実装 (iRMC 正常)	SB #0	SB #0	SB #0
	実装 (iRMC 故障 *1))	実装 (iRMC 正常)	SB#1 *3)	SB #1	送信しない

テーブル 2: REMCS にハード構成情報を送信するSB

- *1) iRMC がハング状態、かつ iRMC 間の生存チェックで通信異常により iRMC の生存が確認できない場合
- *2) 2枚のSBでパーティションを構成している場合。
- *3) REMCS へのレジストレーションを一度も実施していない場合、または再レジストレーション実施時に SB#0 の iRMC が故障していた場合

3.2 REMCS センターへの接続

REMCS センターへの接続形態は、ユーザーのネットワーク構成やサーバ構成により異なります。あらかじめ、どの接続形態で利用するかを決める必要があります。

PRIMEQUEST 4000 シリーズは以下の接続形態をサポートしており、いずれの接続形態においても SMTP だけを使用して REMCS センターと通信します。

- インターネット接続（メール）
- P-P 接続（ISDN/VPN：メール）



日本の場合のみ：

- ISDN サービスは 2024 年 1 月に終了します。それ以降、ISDN 上の接続はサポートされなくなります。
- P-P 接続を使用するに場合は、ISDN の代わりにセキュア回線サービスがご利用いただけます。セキュア回線サービスにつきましては当社営業担当者に確認してください。
- セキュア回線サービスをご利用になる場合、接続形態は「P-P 接続（VPN：メールのみ）」を選択してください。

なお、REMCS センター接続のための設定は、担当保守員が行います。

3.3 REMCS センターへの接続形態

この章では、REMCS センターへの接続形態について説明します。

3.3.1 インターネット接続（メール）

インターネットを経由して REMCS センターと通信します。



- お客様サイト内の SMTP サーバを FQDN で指定する場合は、iRMC の参照先 DNS を設定する必要があります。
- SMTP サーバを IP アドレスで指定する場合は、DNS 設定は不要です。
- ホーム以外の SB と空き SB :
ユーザポートを使用する場合、非Home SBとFree SB からのリモート通知はできません。
ホーム以外の SB または空き SB からホーム SB がダウンしていることを通知させるには、REMCS ポートを代わりに使用してください。

ユーザポートに接続したネットワークを使用する場合

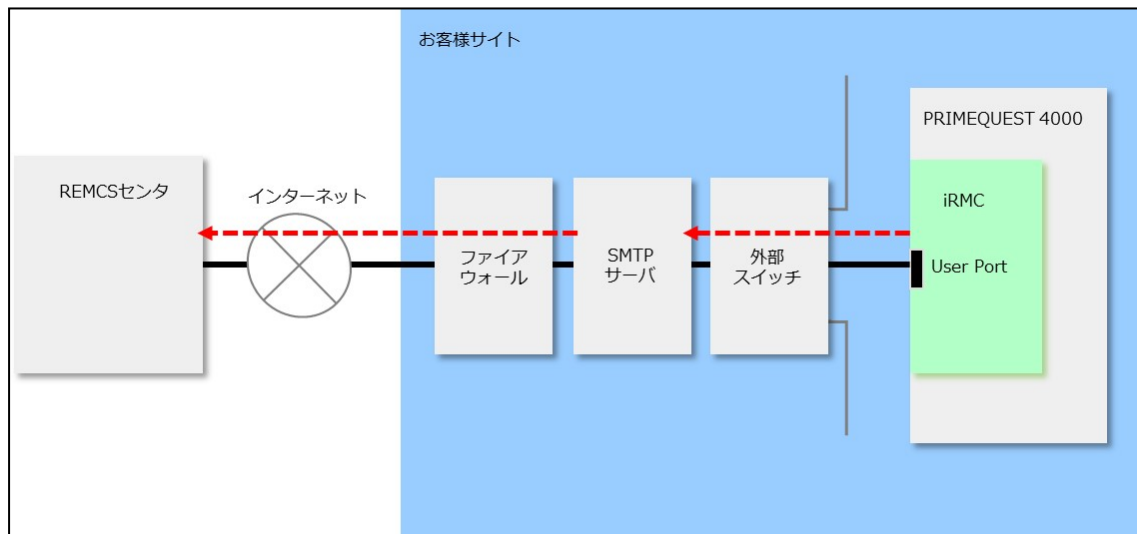


図 3: インターネット接続（ユーザポートに接続したネットワークを使用）

図17 ページの インターネット接続（ユーザポートに接続したネットワークを使用）は、ユーザポートに接続したネットワークの形態を示します。

ユーザポートに接続していないネットワークを使用する場合

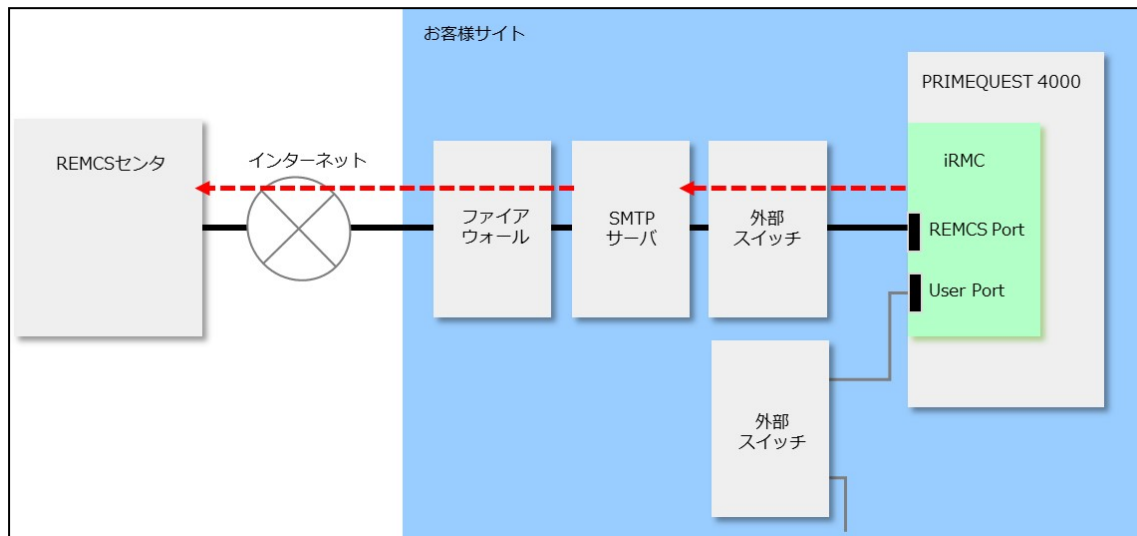


図 4: インターネット接続（REMCS ポートに接続したネットワークを使用）

図18 ページの インターネット接続（REMCS ポートに接続したネットワークを使用）は、ユーザポートに接続したネットワークの形態を示します。

3.3.2 P-P 接続（ISDN/VPN：メール）

VPN 回線などの回線を用いた P-P 方式で REMCS センターと通信します。



日本の場合、16 ページの ISDN サービスは 2024 年 1 月に終了します。それ以降、ISDN 上の接続はサポートされなくなります。の ISDN サービスの注意事項を参照してください。

ユーザポートに接続したネットワークを使用する場合

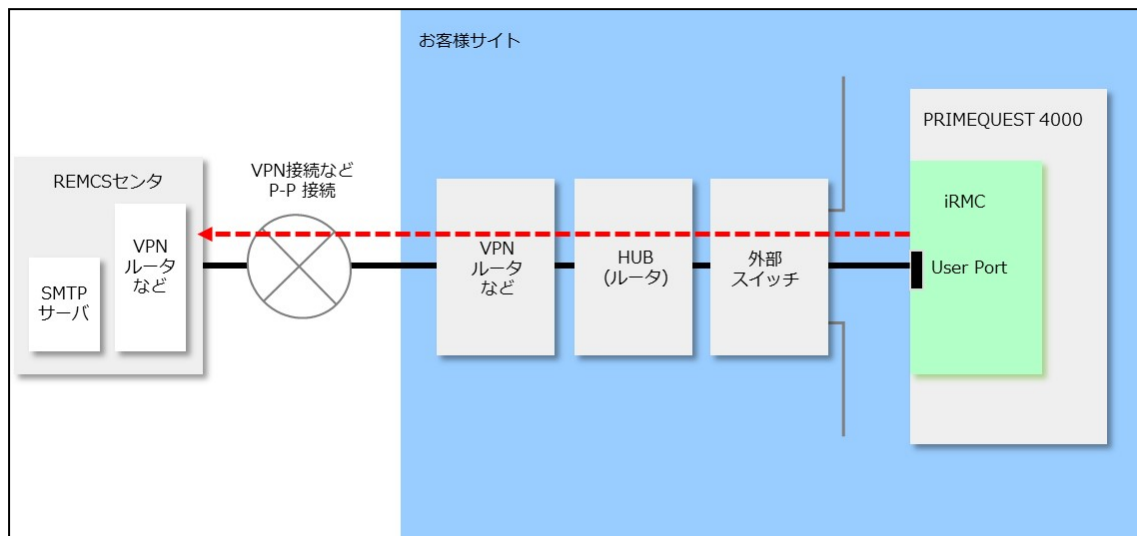


図 5: ユーザポートに接続したネットワークを使用したP-P 接続

図19 ページの ユーザポートに接続したネットワークを使用したP-P 接続は、ユーザポートに接続したネットワークの形態を示します。

ユーザポートに接続していないネットワークを使用する場合

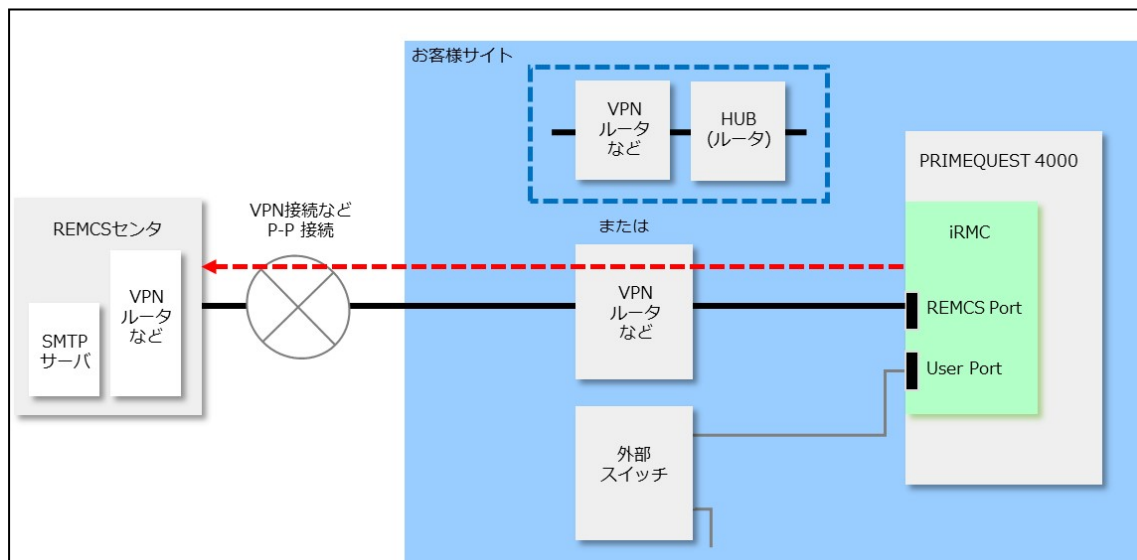


図 6: REMCS ポートを使用した P-P 接続

ユーザポートに接続したネットワークとは別のネットワークと接続する場合に REMCS ポートを使用する形態を図19 ページの REMCS ポートを使用した P-P 接続に示します。

形態には 2 種類あります。REMCS ポートに直接 VPN ルータなどを接続する場合と、HUB（ルータ）に接続してほかの装置などと専用 LAN を構成し、HUB に VPN ルータなどを接続する形態があります。



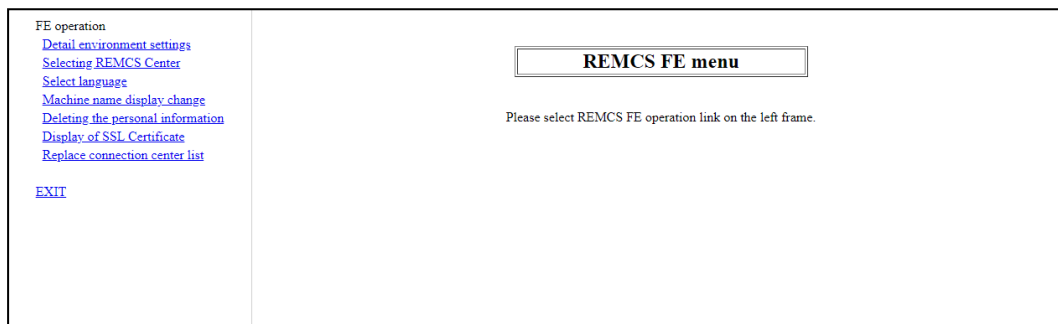
- iRMC の Web インターフェースから REMCS ポートの IP アドレスを設定する必要があります。ただし DNS は指定できません。
 - IP アドレスを使用して SMTP サーバを指定してください。
-

3.4 日本語への切り替え

REMCS GUI は、デフォルトでは英語で表示されます。PRIMEQUEST 4000 シリーズ を日本に設置している場合は、言語を日本語に設定する必要があります。

日本語に切り替えるには、以下の手順に従います。

1. iRMC Web インターフェースで「管理」 - 「詳細設定」 - 「REMCS」 - 「詳細設定を開く」を選択します。



「REMCS FE menu」 初期画面

2. REMCS FE menuで、「Select language」を選択します。



図 7: 「Select language (Japanese or English)」 画面 (日本語/英語の切替え)

3. 「Japanese」を選択して、「Setting」ボタンをクリックします。
確認後、「REMCS CEメニュー」の初期画面が再び表示されます。
4. 「REMCS CEメニュー」の初期画面で、「REMCS CEメニューの終了」を選択します。



英語に戻すには、上記の 3 ステップを繰り返して、日本語を英語選択に切り替えます。

詳細については、[87 ページの 日本語/英語切替え](#)を参照してください。

4 REMCS サービス開始手順

4.1 開始手順の概要

REMCS サービスを開始するためにはREMCS センターへの登録（レジストレーション）が必要です。

レジストレーションとは、お客様の情報を REMCS センターに登録することです。

ただし、製品の設置時に担当保守員がお客様の情報を直接聞いて登録を済ませている場合は、レジストレーションを省略できます。

初期設定時の画面遷移を図23 ページの REMCS センターへのレジストレーションの流れに示します。

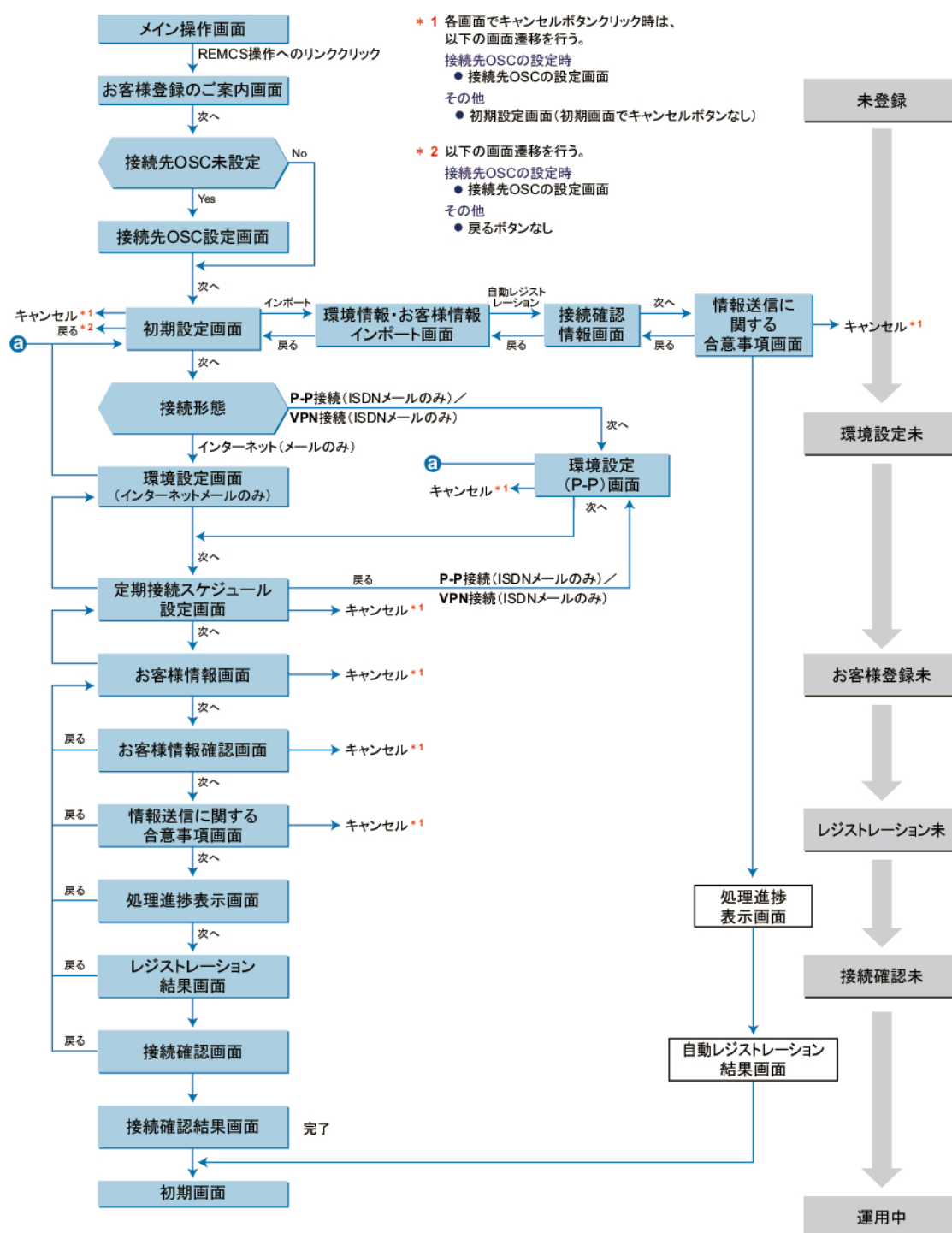


図 8: REMCS センターへのレジストレーションの流れ

レジストレーションを行うときは、以下の情報を準備してください。

- 保証書（装置の型名、チェックコード、製造番号が記載されています）

REMCS の画面下部に表示される装置 ID が一致しているか確認するために使用します。

表示形式例：

装置 ID 00-PQ4000-型名-チェックコード-製造番号

- 使用するメールサーバの IP アドレスまたは FQDN

FQDN は、ユーザポートを使用したインターネット接続の場合にのみ指定できます。

FQDN を指定する場合は、iRMC Web インターフェースの「設定」-「ネットワーク制御」-「DNS」で DNS サーバが設定されていることを確認してください。

- 発信元 E-Mail アドレス（社外発信資格が必要）
- REMCS ポートを使用して REMCS センターに接続するには、まず、iRMC Web インターフェースの「管理」-「詳細設定メニュー」-「保守ネットワーク」の項目を設定する必要があります。
あらかじめ、割り当てる IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、宛先の SMTP サーバアドレスを準備して設定してください。



REMCS 接続を P-P で行う場合、<gateway address> および <SMTP address> の設定は不要です。この場合 <gateway address> および <SMTP address> には 0.0.0.0 を指定します。



保守操作中にはレジストレーションを行わないでください。

4.2 REMCS センターへのレジストレーション

サービスを起動するには、REMCS センターとの登録が必要です。REMCS センターへの登録を行うレジストレーション手順について説明します。

レジストレーションは、以下の手順で行います。

[25 ページの REMCS の開始](#)

[27 ページの 接続先 REMCS センターの設定](#)

[28 ページの 環境設定 - 初期設定](#)

[34 ページの 定期接続スケジュール設定](#)

[36 ページの お客様情報の設定](#)

[41 ページの レジストレーション結果確認](#)

[42 ページの 接続確認](#)

4.2.1 REMCS の開始

1. REMCS を開始するには、iRMC Web インターフェースで「管理」 - 「詳細設定」 - 「REMCS」 - 「メニューを開く」を選択します。
これまでレジストレーションを行っていない場合は、「お客様登録のご案内」画面が表示されます。REMCS センター操作時のデータの追跡と処理について通知されます。



- レジストレーションがすでに行われている場合は、代わりに[55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面](#)が表示されます。
 - 2パーティション構成の場合、REMCS メニューは SB#0 の iRMC Web インターフェースから開きます。
iRMC Web インターフェースの REMCS アプリケーションメニューで「メニューを開く」が無効になっているため、SB#1 の iRMC Web インターフェースから REMCS メニューを開けません。SB#0 の iRMC Web インターフェースから行われたレジストレーションなどの設定変更は、SB#1 の iRMC に自動反映されます。
 - ホーム以外の SB と空き SB では REMCS を起動できません。
-



図 9: 「お客様登録のご案内」画面

2. 「次へ」ボタンをクリックします。

接続先の REMCS センターを選択するための27 ページの 接続先 REMCS センターの設定が表示されます。



CE 操作で接続先センターを選択済みの場合は、「28 ページの 環境設定 - 初期設定」を参照してください。

4.2.2 接続先 REMCS センターの設定

1. 「接続先 REMCS センターの設定」画面で、接続先の REMCS センターを選択します。

設置国により接続先センターが異なります。



通常、日本国内の場合は「OSC」が初期値で表示されるので、この画面では確認だけ行います。



すでに確認が終わっている場合、この画面は表示されません。

図 10: 「接続先 REMCS センターの設定」画面

2. 「REMCS センター」のリストから利用可能なリモート コントロールセンターのいずれかを選択します。
3. 「次へ」 ボタンをクリックします。

接続先 REMCS センターが登録されて、環境設定するための28 ページの「初期設定」画面が表示されます。

4.2.3 環境設定 - 初期設定

「初期設定」画面で、「接続構成」で選択した接続構成を REMCS センターへの接続に指定できます。

別の装置の設定情報、またはバックアップして装置に保存された設定情報をインポートして環境を設定することもできます。

設定情報には、次のものがあります。

- SMTP サーバアドレスや送信者の E-Mail アドレスなどの環境情報
- お客様名や管理者の E-Mail アドレスなどお客様情報

REMCS サービスを設定しても、[55 ページの「REMCS メニュー」](#)の初期画面のメニューから「[接続形態の変更](#)」を選択して接続形態を変更できます。

図 11: 「初期設定」画面

環境情報を新規に設定する

環境情報を新規に設定する場合の手順を、以下に示します。

1. リストから「[接続形態](#)」を選択します。

- インターネット接続（メールのみ）：インターネット経由の接続の初期設定
- P-P 接続（ISDN：メールのみ）：P-P ISDN 経由の接続の初期設定
- P-P 接続（VPN：メールのみ）：P-P VPN 経由の接続の初期設定



日本の場合は、16 ページの ISDN サービスは 2024 年 1 月に終了します。それ以降、ISDN 上の接続はサポートされなくなります。の ISDN サービスの注意事項を参照してください。

2. 「次へ」 ボタンをクリックします。
接続形態の登録が終わり、それぞれの設定画面が表示されます。



以下の手順は、環境情報がすでに存在する場合のものです。

他の装置に下記の設定情報が存在する場合、および以前に下記の設定情報をバックアップしている場合、設定情報を読み込み、レジストレーションを自動的に設定できます。

- お客様情報：rm_bkcus.def
- 環境情報：rm_bkenv.def

環境情報がすでに存在する場合の手順は「44 ページの [レジストレーション情報のインポート](#)」を参照してください。

接続形態が「インターネット接続（メールのみ）」の場合

「28 ページの [「初期設定」画面](#)」で「インターネット接続（メールのみ）」が選択されている場合は、「インターネット（メールのみ）接続の環境設定」画面が表示されます。インターネットを利用してメールを送信するための情報を設定します。

REMCS サービスを設定しても、55 ページの [「REMCS メニュー」](#) の初期画面のメニューから「[接続情報](#)」を選択して接続情報を変更できます。

■接続形態設定 → □環境設定 → □お客様情報設定 → □レジストレーション → □接続確認

[REMCSメニューの終了](#)

インターネット(メールのみ)接続の環境設定

SMTPサーバ SMTPポート番号

暗号化接続の種類

発信元E-Mail

認証タイプ

AUTH SMTP認証機構 (【認証タイプ】が【AUTH SMTP】の場合に有効)

ユーザーID (【認証タイプ】が【認証なし】以外の場合に入力必須)

パスワード (【認証タイプ】が【認証なし】以外の場合に入力必須)

POPサーバ (【認証タイプ】が【POP Before SMTP】の場合に入力必須)

POPポート番号 (【認証タイプ】が【POP Before SMTP】の場合に入力必須)

分割方式

分割サイズ KB (【分割方式】が【分割なし】以外の場合に入力必須)

IPバージョン優先順位

※【SMTPサーバ】と【POPサーバ】にIPv6リンクローカルアドレスを使用する場合、
IPv6アドレスとネットワークIFを%で接続して設定してください。

図 12: 「インターネット接続（メールのみ）の環境設定」画面

1. 以下の項目を入力します。

SMTP サーバ

SMTP サーバ名または IP アドレスを半角英数字で入力します。
最大桁数: 128

SMTP ポート番号

メール(SMTP)サーバのポート番号を半角数字で入力します。
値の範囲: 1 ～ 65535
初期値: 25 (Well Known Port を使用)

暗号化接続の種類

SMTP over SSL の暗号化接続形態を選択します。

- なし（初期設定）
- STARTTLS
- SSL/TLS

発信元 E-Mail

発信元 E-Mail アドレスを入力します。

値の範囲：半角英数字、最大 128 文字

メールアドレスには @ 記号を含み、@ マークが先頭または最後に存在しないこと。

@ マークの直後の文字がドットではないこと。その他の特殊文字や () <>; [] \ が使用されていないこと。

認証タイプ

認証タイプを選択します。

- 認証なし（初期値）
ユーザー ID、パスワード、POP サーバ名のパラメータに入力されたあらゆる値は内部的に破棄されます。
- POP before SMTP
ユーザー ID、パスワード、POP サーバ名は必須です。
- AUTH SMTP
ユーザー ID とパスワードは必須です。

AUTH SMTP 認証機構

（認証タイプ = AUTH SMTP が選択されている場合は必須、それ以外は無効。ボックスには「無効」と表示されます。）

AUTH SMTP 認証機構を選択します。

- AUTO（初期値）
- CRAM-MD5
- PLAIN
- LOGIN

ユーザー ID

（認証タイプ = AUTH SMTP ; POP Before SMTP が選択されている場合は必須）

認証サーバのユーザー ID を半角英数字で入力します。

入力されたすべての文字は、プライバシー保護のため *（アスタリスク）として表示されます。

最大桁数: 64

パスワード

（認証タイプ = AUTH SMTP ; POP Before SMTP が選択されている場合は必須）

認証サーバのパスワードを半角英数字で入力します。

入力されたすべての文字は、プライバシー保護のため *（アスタリスク）として表示されます。

最大桁数: 64

POP サーバ

（認証タイプ = POP Before SMTP が選択されている場合は必須）

POP サーバ名または IP アドレスを半角英数字で入力します。

最大桁数: 128

POP ポート番号

（認証タイプ = POP Before SMTP が選択されている場合は必須）

POP3 認証サーバのポート番号を半角数字で入力します。

値の範囲: 1 ~ 65535

初期値: 110（Well Known Port を使用）

分割方式

分割方式を選択します。

- 分割なし
- イベント分割（初期値）

分割サイズ

分割サイズを半角数字で入力します。

値の範囲: 64 ~ 512 KB

デフォルト値: 512 KB

IP バージョン優先順位

IP バージョン設定を選択します。

- なし
- IPv4（初期設定）
- IPv6

2. 「次へ」 ボタンをクリックします。

接続構成が登録されると、34 ページの「定期接続スケジュール設定」画面が表示されます。34 ページの 定期接続スケジュール設定を続行します。

接続形態が P-P 接続（ISDN/VPN：メールのみ）の場合



日本の場合は、16 ページの ISDN サービスは 2024 年 1 月に終了します。それ以降、ISDN 上の接続はサポートされなくなります。の ISDN サービスの注意事項を参照してください。

P-P 接続 (ISDN：メールのみ) または P-P 接続 (VPN：メールのみ) が「28 ページの「初期設定」画面」で選択されている場合は、「P-P 接続の環境設定」画面が表示されます。P-P 接続を利用してメールを送信するための情報を設定します。

REMCS サービスを設定しても、55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面のメニューから「接続情報」をクリックして接続情報を変更できます。

図 13: 「P-P 接続の環境設定」画面

1. 以下の項目を入力します。

SMTP/PROXY サーバ

SMTP/PROXY サーバ名または IP アドレスを半角英数字で入力します。

最大桁数: 128

発信元 E-Mail

発信元 E-Mail アドレスを入力します。

値の範囲：半角英数字、最大 128 文字

メールアドレスには @ 記号を含み、@ マークが先頭または最後に存在しないこと。

@ マークの直後の文字がドットではないこと。その他の特殊文字や () < > ; [] \ が使用されていないこと。

分割方式

分割方式を選択します。

- 分割なし
- イベント分割 (初期値)

分割サイズ

分割サイズを半角数字で入力します。

値の範囲：64 ～ 512 KB

デフォルト値：512 KB

2. 「次へ」 ボタンをクリックします。

接続構成が登録されると、34 ページの「定期接続スケジュール設定」画面が表示されます。34 ページの 定期接続スケジュール設定 を続行します。

4.2.4 定期接続スケジュール設定

「定期接続スケジュール設定」画面で、定期接続のパラメータを設定できます。

REMCS サービス開始後も、55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面のメニューから「定期接続情報」をクリックして、定期接続スケジュールを変更できます。

図 14: 「定期接続スケジュール設定」画面

1. 以下の項目を設定します。

周期

周期を以下のいずれかから設定します。

毎週；毎日；日曜を除く毎日；土日を除く毎日

初期値：毎週

曜日

周期 = 毎週を指定した場合、曜日も設定する必要があります。

他の周期を指定した場合は、このパラメータは使用されません。

初期値：月曜日から金曜日の乱数値

運用時間

運用時間を指定します。少なくとも開始時刻を設定する必要があります。

- 運用開始時刻（時）：運用の開始時刻を 0 ～ 23 で入力します。
- 運用開始時刻（分）：運用の開始時刻を 0 ～ 59 で入力します。
- （オプション）運用終了時刻（時）：運用の終了時刻を 0 ～ 23 で入力します。
- （オプション）運用終了時刻（分）：運用の終了時刻を 0 ～ 59 で入力します。

初期値：10:00～15:00

2. 「次へ」 ボタンをクリックします。

定期接続スケジュールが登録されると、[36 ページの「お客様情報設定」画面](#)が表示されます。

4.2.5 お客様情報の設定

お客様情報の設定は、「お客様情報設定」画面で行うことができます。

なお、REMCS サービス開始後も、[54 ページの REMCS 操作の手順概要](#)のメニューから「お客様情報の更新」をクリックして、お客様情報を変更できます。

■接続形態設定 → ■環境設定 → □お客様情報設定 → □レジストレーション → □接続確認

[REMCSメニューの終了](#)

お客様情報の入力

※のついている項目は入力必須項目です。
半角カナは、使用しないでください。

法人名	※	テストフジツワ	(全角)
法人名 (カナ)	※	テストフジツワ	(全角カタカナ)
部署名			(全角)
ご住所	※	上小田中	(全角)
ビル名称			(全角)
管理者のお名前		イシバシ・ナオヨシ	(全角)
管理者のお名前 (カナ)	※	イシバシ・ナオヨシ	(全角カタカナ)
E-Mailアドレス	※	isibasi_naoyosi@jp.fujitsu.com	(英数記号)
郵便番号			(英数記号) 例. 012-3456
電話番号	※	012-345-6789	(数字記号) 例. 012-345-6789
FAX番号			(数字記号) 例. 012-345-6789
装置ユニーク名			(英数記号)
国名	※	JP	(英字:ISO-3166コード表(A2))
設置場所			(全角)
設置場所のビル名称			(全角)
実施者E-Mail			(英数記号)
☐ 個人情報削除			

※【ご住所】が【設置場所】と同じ場合は、【設置場所】を入力する必要はありません。
※【ビル名称】が【設置場所のビル名称】と同じ場合は、【設置場所のビル名称】を入力する必要はありません。

図 15: 「お客様情報設定」画面

1. 必要なお客様情報を入力します。

法人名

(必須)

法人名を全角文字で入力します。

最大長：30 文字 (全角)

法人名 (カナ)

(必須)

法人名を全角カタカナで入力します。

最大長：40 文字 (全角)

部署名

お客様の部署名を全角文字で入力します。
最大長：20 文字（全角）

ご住所

（必須）
お客様の住所を全角文字で入力します。
最大長：30 文字（全角）

ビル名称

ビル名称を全角文字で入力します。
最大長：20 文字（全角）

管理者のお名前

（必須）
サーバのお客様管理者のお名前を全角文字で入力します。
最大長：20 文字（全角）

管理者のお名前（カナ）

（必須）
サーバのお客様管理者のお名前を全角カタカナで入力します。
最大長：20 文字（全角）

E-Mail アドレス

（必須）
サーバのお客様管理者の E-Mail アドレスを半角英数記号で入力します。
この E-Mail アドレス宛てに接続確認完了のメールが送られます。
値の範囲：半角英数字、最大 60 文字
メールアドレスには @ 記号を含み、@ マークが先頭または最後に存在しないこと。
@ マークの直後の文字がドットではないこと。その他の特殊文字や () <>; [] \ が使用されていないこと。

郵便番号

お客様の会社所在地郵便番号を半角数字と「-」で入力します。
郵便番号の桁数は、PRIMEQUEST 4000 シリーズを設置する国に対応した桁数になります。

電話番号

（必須）
お客様の電話番号を半角数字記号と「-」で入力します。
最大長：20 文字

FAX 番号

お客様の FAX 番号を半角数字記号と「-」で入力します。
最大長：20 文字

装置ユニーク名

お客様固有の名称を半角英数記号で入力します。
最大長：32 文字

国名

(必須)
設置国を国際国コードで入力します (例: 日本は「JP」)。
値の範囲: A-Z、99 の 2 文字
小文字は大文字に変換されます。
コードは、ISO-3166 コード表A (2) (2 文字) に一覧されています。未設定の国は 99 を指定します。

設置場所

設置場所を全角文字で入力します (「ご住所」と同じ場合は、入力不要)。
最大長：30 文字 (全角)

設置場所のビル名称

ビル名称を全角文字で入力します (「ご住所」と同じ場合は、入力不要)。
最大長：20 文字 (全角)

実施者 E-Mail アドレス

実施者 (担当保守員) の E-Mail アドレスを入力します。
この E-Mail アドレス宛てに接続確認完了のメールが送られます。
値の範囲：半角英数字、最大 60 文字
メールアドレスには @ 記号を含み、@ マークが先頭または最後に存在しないこと。
@ マークの直後の文字がドットではないこと。その他の特殊文字や () < > ; [] \ が使用されていないこと。

個人情報削除

「個人情報」と指定されたすべてのデータを削除するかどうかを指定します。
個人情報を含む項目は以下のとおりです。

- 管理者のお名前
- E-Mail アドレス
- 電話番号
- Fax
- 実施者 E-Mail アドレス

チェックすると、値は iRMC のお客様情報として保持されず、削除されます。

値の範囲：チェックあり | チェックなし

デフォルト：チェックなし（空フィールド）：- 個人情報は削除されません。



個人情報保護対象項目。

実施者によって「89 ページの「個人情報削除」画面」から個人情報が削除された場合、iRMC お客様情報から情報が削除されます。

2. 「次へ」 ボタンをクリックします。

お客様情報が登録されると、「お客様情報確認」画面が表示されます。

この画面には、確認の対象となるお客様情報が表示されます。

■接続形態設定 → ■環境設定 → □お客様情報設定 → □レジストレーション → □接続確認

[REMCSメニューの終了](#)

入力情報の確認

ご入力いただいたお客様情報に間違いがないかご確認ください。

法人名	※ テストフジツウ
法人名 (カナ)	※ テストフジツウ
部署名	
ご住所	※ 上小田中
ビル名称	
管理者のお名前	※ イシバシ・ナオヨシ
管理者のお名前 (カナ)	※ イシバシ・ナオヨシ
E-Mailアドレス	※ isibasi.naoyosi@jp.fujitsu.com
郵便番号	
電話番号	※ 012-345-6789
F A X 番号	
装置ユニーク名	
国名	※ JP
設置場所	
設置場所のビル名称	
実施者E-Mail	

戻る 次へ キャンセル

図 16: 「お客様情報確認」画面

3. 入力を確認して、「次へ」ボタンをクリックします。

お客様情報が登録されると、「**情報送信に関する合意事項**」画面が表示されます。

このウィンドウは、「環境情報・お客様情報のインポート」画面の「**自動レジストレーション**」ボタンをクリックして自動設定を行った場合も表示されます（「[44 ページの レジストレーション情報のインポート](#)」を参照）。

この画面では、以前提供した情報の転送に合意できます。

■接続形態設定 → ■環境設定 → ■お客様情報設定 → ◯レジストレーション → ◯接続確認

[REMCSメニューの終了](#)

情報送信に関する合意事項

下記の方針にご賛同いただける場合、「合意する」ボタンを押下してください。
登録内容をサポートセンターへ送信します。

お客様登録では、お客様の情報、ハードウェア、ソフトウェアの構成を弊社REMCSセンターに
送付致します。
さらに、トラブル発生時の調査資料を弊社REMCSセンターに送付します。

送付いただく情報は、お客様の機器及びソフトウェアの保守、弊社の新製品のご案内、弊社の製品
改善のために使わせていただきます。この情報は第三者には提供致しません。
また、情報は機器内で暗号化された後に送付されます。

図 17: 「情報送信に関する合意事項」画面

4. 「**合意する**」ボタンをクリックして合意を確定します。

お客様情報が登録されると、[41 ページの レジストレーション結果確認](#)が表示されます。

4.2.6 レジストレーション結果確認

レジストレーションが終了すると、実行結果が「レジストレーション結果」画面に表示されます。



図 18: 「レジストレーション結果」画面

1. 「次へ」 ボタンをクリックして、「[42 ページの 接続確認](#)」に進みます。

4.2.7 接続確認

「接続確認」画面では、REMCS センターとの接続確認を実行できます。

図 19: 「接続確認」画面

1. 接続確認結果の送信先に関する設定を確認します。

お客様管理者への結果通知

- 通知する
初期値。管理者に結果が通知されます。
- 通知しない。
管理者に結果は通知されません。

実施者への結果通知

- 通知する。（通常形式）
実施者に結果が通知されます。
- 通知する。（携帯電話向け簡易形式）
実施者に結果が通知されます。
- 通知しない。
初期値。実施者に結果は通知されません。

結果通知先 E-mail アドレス

通知が設定されている場合、E-Mailアドレスの必須テキストフィールド。
値の範囲：半角英数字、最大 60 桁
メールアドレスには @ 記号を含み、@ マークが先頭または最後に存在しないこと。
@ マークの直後の文字がドットではないこと。その他の特殊文字や () <>; [] \ が使用されていないこと。

2. 「**接続確認**」ボタンをクリックして接続を確認します。
「**接続確認結果**」画面が表示されます。

この画面は、接続確認の結果をシステムメッセージとして表示します。



図 20: 初期設定時の「接続確認結果」画面

3. 「**OK**」ボタンをクリックします。
接続確認が終了し、55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面が表示されます。



メッセージについては、「95 ページの REMCS 画面のメッセージ」と「134 ページの 通信エラーメッセージ (SMTP 通信)」に記載されています。

4.3 レジストレーション情報のインポート

「初期設定」画面のローカルファイルからのインポートをクリックすると、「環境情報・お客様情報のインポート」画面が表示されます。指定された設定情報ファイル（環境情報ファイル、お客様情報ファイル）のインポートおよび自動設定を行います。同じ装置または他の装置にバックアップした設定情報ファイルを使用できます。



図 21: 「環境情報・お客様情報のインポート」画面

手動レジストレーション

設定情報ファイルをインポートして手動で登録する場合の手順は以下です。

1. Web ブラウザを起動している PC やファイルサーバで、バックアップしている以下のファイルを指定します。
 - 環境情報ファイル: `rm_bkenv.def` ファイルを探します。
 - お客様情報ファイル: `rm_bkcus.def` ファイルを探します。
2. 「インポート」ボタンをクリックして設定情報ファイルをインポートします。
インポートが完了すると、「28 ページの「初期設定」画面」が表示されます。
その後の手順に従います。

自動レジストレーション

設定情報ファイルから自動でレジストレーションを行う場合の手順は以下です。

1. Web ブラウザを起動している PC やファイルサーバで、バックアップしている以下のファイルを指定します。
 - 環境情報ファイル：rm_bkenv.def ファイルを探します。
 - お客様情報ファイル：rm_bkcus.def ファイルを探します。
2. 「自動レジストレーション」ボタンをクリックします。
次の画面が表示されます。



図 22: 自動レジストレーションの後に個人情報を削除するかどうかの質問



「削除」ボタンをクリックすると、自動レジストレーション終了後に個人情報が削除されます。

運用を指定すると、「接続確認」画面が表示されます。接続結果の送信先に関する設定を確認してください。

図 23: 「接続確認」画面

- お客様管理者への結果通知
お客様管理者への結果通知の可否を設定します。お客様管理者の E-Mail アドレスにはインポートしたお客様情報に入力されていた管理者 E-Mail アドレスが表示されます
 - 実施者への結果通知
実施者への結果通知の可否を設定します。「通知する」を選択した場合は、「**結果通知先 E-mail アドレス**」に実施者のメールアドレスを設定します。
3. 「次へ」 ボタンをクリックし、自動レジストレーションを設定します。
「**情報送信に関する合意事項**」（自動設定）画面が表示されます。

■接続形態設定 → ■環境設定 → ■お客様情報設定 → ◯レジストレーション → ◯接続確認

[REMCSメニューの終了](#)

情報送信に関する合意事項

下記の方針にご賛同いただける場合、「合意する」ボタンを押下してください。
登録内容をサポートセンターへ送信します。

お客様登録では、お客様の情報、ハードウェア、ソフトウェアの構成を弊社REMCSセンターに送付致します。
さらに、トラブル発生時の調査資料を弊社REMCSセンターに送付します。

送付いただく情報は、お客様の機器及びソフトウェアの保守、弊社の新製品のご案内、弊社の製品改善のために使わせていただきます。この情報は第三者には提供致しません。
また、情報は機器内で暗号化された後に送付されます。

戻る 合意する キャンセル

図 24: 「情報送信に関する合意事項」（自動設定）画面

4. 合意事項を確認し、「**合意する**」ボタンをクリックします。
お客様情報が登録されると、「**自動レジストレーション結果**」画面が表示されます。



図 25: 「自動レジストレーション結果」画面

5. 「OK」 ボタンをクリックします。

レジストレーションが完了すると、REMCS 初期画面が表示されます。

4.4 S/MIME 形式証明書の入れ替えと検証

28 ページの「初期設定」画面で「証明書の入れ替え」リンクをクリックすると、画面が開きます。ここで、初期設定時に S/MIME 形式証明書を入れ替えます。

■接続形態設定 → □環境設定 → □お客様情報設定 → □レジストレーション → □接続確認

[REMCSメニューの終了](#)

証明書の入れ替え

証明書の入れ替えを行ないます。対象となる証明書を指定した後、【次へ】ボタンをクリックして、証明書の取り込みを行ってください。

証明書のファイル名 sha256_testH.der

※【証明書のファイル名】はフルパスで入力してください。

図 26: 「証明書の入れ替え」画面

1. 証明書ファイルを指定します。

証明書のファイル名

ファイルエクスプローラ（ブラウザ機能）が開き、証明書ファイルを選択します。

証明書ファイルはファイル検索画面で指定できます。

2. 「次へ」ボタンをクリックします。「証明書の確認」画面が表示されます。

■接続形態設定 → □環境設定 → □お客様情報設定 → □レジストレーション → □接続確認

[REMCSメニューの終了](#)

証明書の確認

取り込んだ証明書を確認してください。内容が正しければ、【次へ】ボタンをクリックしてください。
証明書の入れ替えを行います。

発行先	: CN=testh_256, O=Fujitsu Limited, S=KANAGAWA, C=JP
発行者	: CN=remcsproject, O=fujitsu, L=kawasaki city, S=kanagawa, C=JP
有効期限	: 2014/01/17 から 2032/03/13
拇印	: sha1 : EFB8979F FC3B76A4 9268FD03 7502D8B3 7112AD6E md5 : 741CC7AE 6E6EA91E 43431DEE 3A0BBB4A
公開キー	: RSA(2048 Bits)

次へ キャンセル

図 27: 「証明書の確認」画面

3. メッセージを読んで確認します。
4. 「次へ」ボタンをクリックすると、以下の確認メッセージが出力されます。

証明書の入れ替えを行います。証明書の入れ替えを行うと、接続確認が完了するまで
REMCS センターへの通報は行われません。よろしいですか。

5. 「OK」ボタンをクリックして、28 ページの「初期設定」画面に戻ります。

4.5 REMCS 設定のインポートおよび自動レジストレーションに関する注意事項

PRIMEQUEST 4000 で SMTP over SSL 接続をサポートしたことに伴い、REMCS 設定情報のインポート、自動レジストレーション処理に以下の注意事項があります。



PRIMEQUEST 4000 シリーズは、ある条件下では自動登録が実行できません。自動登録が実行できない条件：「暗号化接続の種類」を STARTTLS または SSL/TLS から「なし」に変更した場合

上記の場合は、以下の手順を実行してください。

1. REMCS 環境情報ファイルをインポートします。
2. 「環境設定」画面で「暗号化接続の種類」の設定を「なし」に変更します。
3. レジストレーションを手動で実行します。

環境情報ファイルの REMCS 設定			PRIMEQUEST 4000 シリーズで実行する前のステータス	
エクスポート元	接続形態	暗号化接続の種類	暗号化接続の種類	
			なし (=初期値)	STARTTLS または SSL/TLS
PRIMEQUEST 1000	不問	非サポート	A	S *1 [ケース 1]
PRIMEQUEST 2000/3000/4000 シリーズ	P-P (メールのみ)	なし	A	S *2 [ケース 2]
	インターネット (メールのみ)	なし		
		STARTTLS または SSL/TLS	A	A

テーブル 3: 暗号化接続設定、インポート、自動レジストレーションのリスト

A 利用可能

S 特別な手順が必要

*1 PRIMEQUEST 1000 シリーズからエクスポートした環境情報ファイルでは、「暗号化接続の種類」の設定を「STARTTLS」または「SSL/TLS」から「なし」へ変更することはできません。

自動レジストレーションは使用できません。

上記の場合は、以下の手順を実行してください。

1. REMCS 環境情報ファイルをインポートします。
2. 「暗号化接続の種類」の設定を「なし」に変更します。
3. レジストレーションを実行します。

*2 PRIMEQUEST 2000/3000/4000 シリーズからエクスポートした環境情報ファイルでは（SMTP over SSL は 利用不可）、「暗号化接続の種類」の設定を「STARTTLS」または「SSL/TLS」から「なし」へ変更することはできません。自動レジストレーションは使用できません。

上記の場合は、以下の手順を実行してください。

1. REMCS 環境情報ファイルをインポートします。
2. 「暗号化接続の種類」の設定を「なし」に変更します。
3. レジストレーションを実行します。

ケース 1 と 2 の異常発生シーケンスを次の図で説明します。

図中の用語定義：

- SMTPs なし：「暗号化接続の種類」が「なし」の意味。
- SMTPs あり：「暗号化接続の種類」が「STARTTLS」または「SSL/TLS」の意味。

ケース 1

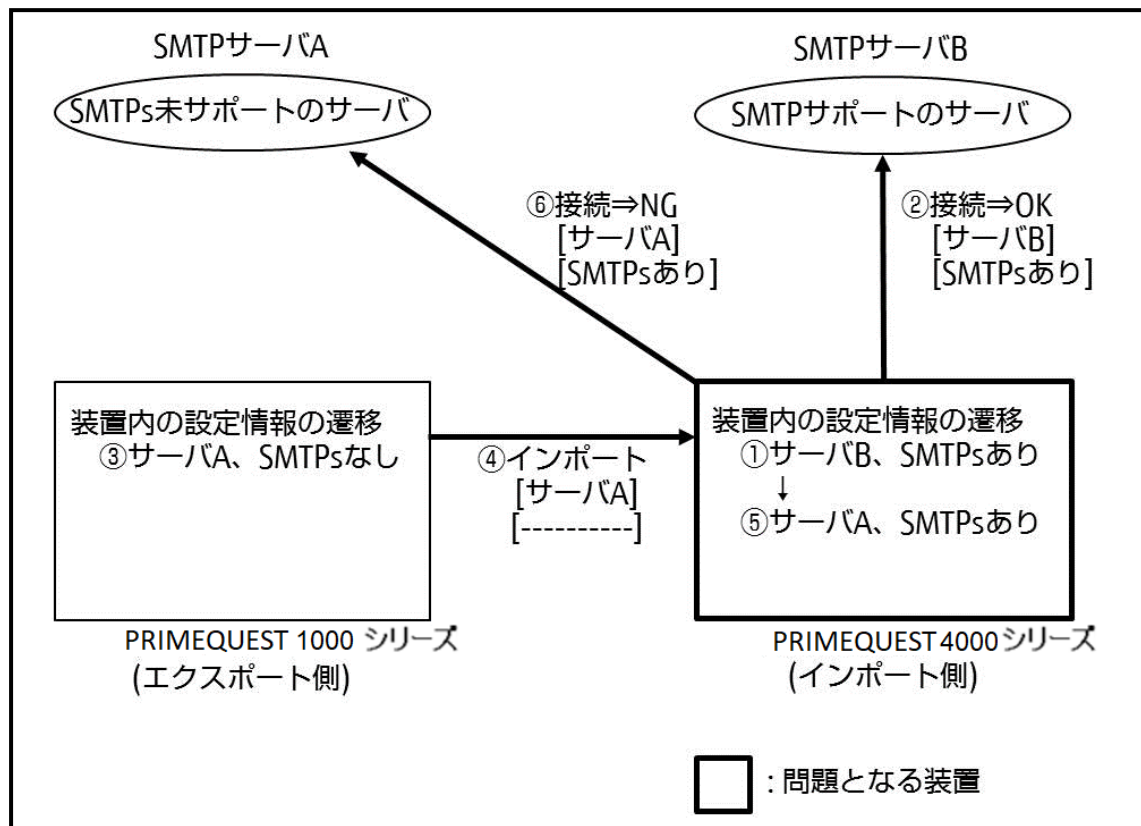


図 28: ケース 1

- PRIMEQUEST 4000 シリーズが設定 (1) で (2) によって SMTP サーバ A に接続されている状態。
- (3) の設定が (4) によってインポートされている場合、(3) の「SMTPs なし」を設定として出力しないため、(5) の「SMTPs あり」は変更されません (このために問題が発生します)。

この結果、PRIMEQUEST 4000 シリーズは SMTP サーバ A に (6) (PRIMEQUEST 1000 シリーズで接続できる) によって接続できません。

ケース 2

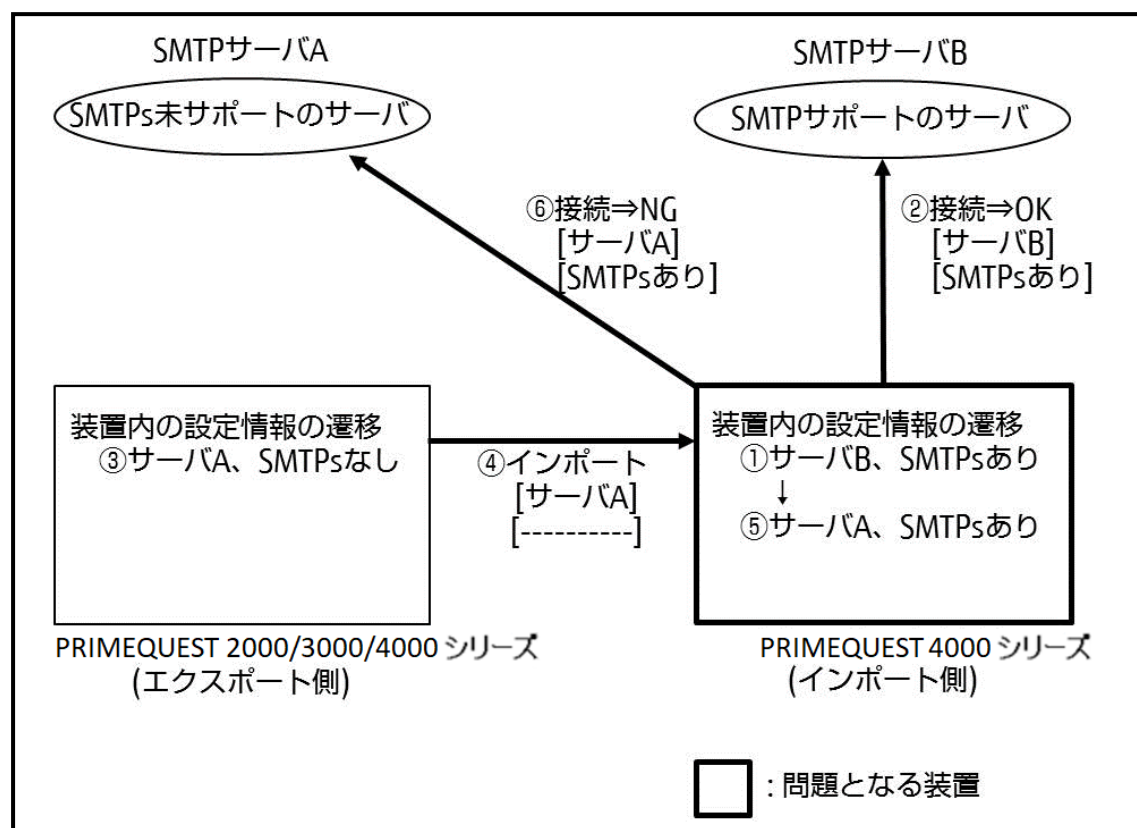


図 29: ケース 2

- PRIMEQUEST 4000 シリーズ（インポート側）が設定（1）で（2）によって SMTP サーバ B に接続されている状態。
 - （3）の設定が（4）によってインポートされている場合、（3）の「SMTPs なし」を設定として出力しない（*）ため、（5）の「SMTPs あり」は変更されません（このために問題が発生します）。
 - この結果、PRIMEQUEST 4000 シリーズ（インポート側）は SMTP サーバ A に（6）（PRIMEQUEST 4000 シリーズ（エクスポート側）で接続できる）によって接続できません。
- （*）この場合、システムが起動してから設定は変更されません。

5 REMCS サービス操作手順

5.1 REMCS 操作の手順概要

REMCS センターへのレジストレーションが完了した場合、または REMCS センターへの接続確認が完了した後で iRMC Web インターフェースから REMCS を起動した場合に、「**REMCS メニュー**」の初期画面が表示されます。REMCS センターのレジストレーションをキャンセルすると、[26 ページの「お客様登録のご案内」画面](#)が表示されます。



- 2 パーティション構成の場合、**REMCS メニュー**は SB#0 の iRMC Web インターフェースから開きます。
iRMC Web インターフェースの **REMCS** アプリケーションメニューで「**メニューを開く**」が無効になっているため、SB#1 の iRMC Web インターフェースから REMCS メニューを開けません。SB#0 の iRMC Web インターフェースから行われたレジストレーションなどの設定変更は、SB#1 の iRMC に自動反映されます。
- ホーム以外の SB と空き SB では REMCS を起動できません。

ホーム以外の SB と空き SB では REMCS を起動できません。

1. 実行する機能を「**REMCS メニュー**」の初期画面の左のメニューから選択します。



図 30: 「REMCS メニュー」の初期画面

REMCS メニューの初期画面には、REMCS 操作のメニュー項目が表示されます。

メニュー項目		説明
レジストレーション		
	再レジストレーション	レジストレーションを更新します。
	お客様情報の更新	お客様情報の確認または変更を行います。
環境設定		
	接続情報	接続情報を表示または変更します。
	定期接続情報	定期接続スケジュールを設定または変更します。
	設定情報エクスポート	設定情報をエクスポートします。
	接続形態の変更	接続形態を設定または変更します。
	証明書の表示	S/MIME 形式の送信に使用する証明書を表示します。
	証明書の入れ替え	S/MIME 形式の送信に使用する証明書を入れ替えます。

メニュー項目		説明
	前証明書への復元	S/MIME 形式証明書を以前使用していた証明書に入れ替えます。 証明書の入れ替えを行っていない場合、本項目は選択できません。
接続		
	接続確認	REMCS センターとの接続を確認します。
	センター接続一時停止	保守などのときに REMCS センターとの接続を一時停止します。
	センター接続再開	一時停止していたセンター接続を再開します。
サポート情報		
	ハード構成情報送信	ハードウェア構成情報を送信します。
REMCS CE メニューの終了		REMCS 操作を終了し、表示しているブラウザのウィンドウを閉じます。

5.2 レジストレーション

5.2.1 再レジストレーション

レジストレーション完了後に 実施者等の指示で再度レジストレーションを実施する場合に使用します。

再レジストレーションの手順を以下に説明します。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「再レジストレーション」をクリックします。「**情報送信に関する合意事項**」画面が表示されます。

レジストレーション
[再レジストレーション](#)
[お客様情報の更新](#)

環境設定
[接続情報](#)
[定期接続情報](#)
[設定情報エクスポート](#)
[接続形態の変更](#)
[証明書の表示](#)
[証明書の入力替え](#)
[前証明書への復元](#)

接続
[接続確認](#)
[センター接続一時停止](#)
[センター接続再開](#)

サポート情報
[ハード構成情報送信](#)

[REMCSメニューの終了](#)

情報送信に関する合意事項

下記の方針にご賛同いただける場合、「合意する」ボタンを押下してください。
登録内容をサポートセンターへ送信します。

お客様登録では、お客様の情報、ハードウェア、ソフトウェアの構成を弊社REMCSセンターに送付致します。
さらに、トラブル発生時の調査資料を弊社REMCSセンターに送付します。

送付いただく情報は、お客様の機器及びソフトウェアの保守、弊社の新製品のご案内、弊社の製品改善のために使わせていただきます。この情報は第三者には提供致しません。
また、情報は機器内で暗号化された後に送付されます。

図 31: 「情報送信に関する合意事項」（自動設定）画面

2. E-Mail 送信が可能な環境かどうかを確認し、「合意する」ボタンをクリックします。

入力した情報が REMCS センターに自動送付され、メールの転送が完了すると、「**レジストレーション結果**」画面が表示されます。



図 32: 「レジストレーション結果」画面

3. 「キャンセル」ボタンをクリックして55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面に戻ります。

5.2.2 お客様情報の更新

レジストレーション時に入力したお客様情報を確認したり、管理者のお名前やご住所などのお客様情報を変更したりする場合に使用します。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「お客様情報の更新」をクリックします。
「お客様情報」画面が表示されます。

レジストレーション
[再レジストレーション](#)
[お客様情報の更新](#)
 環境設定
[接続情報](#)
[定期接続情報](#)
[設定情報エクスポート](#)
[接続形態の変更](#)
[証明書を表示](#)
[証明書の入れ替え](#)
[前証明書への復元](#)
 接続
[接続確認](#)
[センター接続一時停止](#)
[センター接続再開](#)
 サポート情報
[ハード構成情報送信](#)
[REMCSメニューの終了](#)

お客様情報の入力

※のついている項目は入力必須項目です。
 半角カナは、使用しないでください。

法人名 ※ テスト富士通 (全角)
 法人名 (カナ) ※ テストフジツウ (全角カタカナ)
 部署名 (全角)
 ご住所 ※ 上小田中 (全角)
 ビル名称 (全角)
 管理者のお名前 ※ テスト富士通 (全角)
 管理者のお名前 (カナ) ※ テストフジツウ (全角カタカナ)
 E-Mailアドレス ※ norman@example.com (英数記号)
 郵便番号 (英数記号) 例. 012-3456
 電話番号 ※ 012-345-6789 (数字記号) 例. 012-345-6789
 F A X 番号 (数字記号) 例. 012-345-6789
 装置ユニーク名 (英数記号)
 国名 ※ JP (英字 ISO-3166コード表(A2))
 設置場所 (全角)
 設置場所のビル名称 (全角)
 実施者E-Mail (英数記号)
☒ 個人情報削除

※【ご住所】が【設置場所】と同じ場合は、【設置場所】を入力する必要はありません。
 ※【ビル名称】が【設置場所のビル名称】と同じ場合は、【設置場所のビル名称】を入力する必要はありません。

次へ キャンセル

図 33: 「お客様情報」画面

2. 表示された設定の確認のみを行いますか？
 - すべての設定が正しいことを確認した場合：必ず「キャンセル」ボタンをクリックしてすべての設定を確定し、55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面に戻ります。
 - 設定を変更する必要がある場合：手順 3 から 6 に進んでください。
3. 必要な設定に変更します。
4. 「次へ」ボタンをクリックします。「入力情報の確認」画面が表示されます。

レジストレーション 再レジストレーション お客様情報の更新 環境設定 接続情報 定期接続情報 設定情報エクスポート 接続形態の変更 証明書の表示 証明書への入れ替え 前証明書への復元 接続 接続確認 センター接続一時停止 センター接続再開 サポート情報 ハード構成情報送信 REMCSメニューの終了	入力情報の確認 ご入力いただいたお客様情報に間違いがないかご確認ください。 <table> <tr><td>法人名</td><td>※ テスト富士通</td></tr> <tr><td>法人名 (カナ)</td><td>※ テストフジツウ</td></tr> <tr><td>部署名</td><td></td></tr> <tr><td>ご住所</td><td>※ 上小田中</td></tr> <tr><td>ビル名称</td><td></td></tr> <tr><td>管理者のお名前</td><td>※ テスト富士通</td></tr> <tr><td>管理者のお名前 (カナ)</td><td>※ テストフジツウ</td></tr> <tr><td>E-Mailアドレス</td><td>※ norman@example.com</td></tr> <tr><td>郵便番号</td><td></td></tr> <tr><td>電話番号</td><td>※ 012-345-6789</td></tr> <tr><td>FAX番号</td><td></td></tr> <tr><td>装置ユニーク名</td><td></td></tr> <tr><td>国名</td><td>※ JP</td></tr> <tr><td>設置場所</td><td></td></tr> <tr><td>設置場所のビル名称</td><td></td></tr> <tr><td>実施者E-Mail</td><td></td></tr> </table> 戻る 次へ キャンセル	法人名	※ テスト富士通	法人名 (カナ)	※ テストフジツウ	部署名		ご住所	※ 上小田中	ビル名称		管理者のお名前	※ テスト富士通	管理者のお名前 (カナ)	※ テストフジツウ	E-Mailアドレス	※ norman@example.com	郵便番号		電話番号	※ 012-345-6789	FAX番号		装置ユニーク名		国名	※ JP	設置場所		設置場所のビル名称		実施者E-Mail	
	法人名	※ テスト富士通																															
法人名 (カナ)	※ テストフジツウ																																
部署名																																	
ご住所	※ 上小田中																																
ビル名称																																	
管理者のお名前	※ テスト富士通																																
管理者のお名前 (カナ)	※ テストフジツウ																																
E-Mailアドレス	※ norman@example.com																																
郵便番号																																	
電話番号	※ 012-345-6789																																
FAX番号																																	
装置ユニーク名																																	
国名	※ JP																																
設置場所																																	
設置場所のビル名称																																	
実施者E-Mail																																	

図 34: 「入力情報の確認」画面

5. 設定を確認します。

- 情報に誤りがあり、修正する場合は「戻る」ボタンをクリックして、59 ページの「お客様情報」画面画面に戻って修正します。
- 誤りがない場合は「次へ」ボタンをクリックします。「情報送信に関する合意事項」画面が表示され、変更の確認が続行されます。

レジストレーション 再レジストレーション お客様情報の更新 環境設定 接続情報 定期接続情報 設定情報エクスポート 接続形態の変更 証明書の表示 証明書への入れ替え 前証明書への復元 接続 接続確認 センター接続一時停止 センター接続再開 サポート情報 ハード構成情報送信 REMCSメニューの終了	情報送信に関する合意事項 下記の方針にご賛同いただける場合、「合意する」ボタンを押下してください。 登録内容をサポートセンターへ送信します。 お客様登録では、お客様の情報、ハードウェア、ソフトウェアの構成を弊社 REMCS センターに送付致します。 さらに、トラブル発生時の調査資料を弊社 REMCS センターに送付します。 送付いただく情報は、お客様の機器及びソフトウェアの保守、弊社の新製品のご案内、弊社の製品改善のために使わせていただきます。この情報は第三者には提供致しません。 また、情報は機器内で暗号化された後に送付されます。 合意する キャンセル
--	---

図 35: 「情報送信に関する合意事項」 (自動設定) 画面

6. 「**合意する**」 ボタンをクリックします。入力した情報が REMCS センターに自動送付され、メールへの転送が完了すると、「[41 ページの「レジストレーション結果」画面](#)が表示されます。



設定を変更した場合は、「**入力情報の確認**」画面を「**次へ**」ボタンから退出し、最終的に「**情報送信に関する合意事項**」画面で確認を完了する必要があります。それ以外の場合、変更は破棄されます。

5.3 環境設定

5.3.1 接続情報設定

現在使用している接続情報の表示またはメールサーバなどの設定情報を変更する場合に使用します。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「**接続情報**」をクリックします。
 - 環境が「インターネット接続（メールのみ）」に設定されている場合、「**インターネット接続（メールのみ）の環境設定**」画面が表示されます。
 - 環境が他の接続タイプに設定されている場合は、「**P-P接続の環境設定**」ウィンドウが表示されます。

画面操作方法の詳細は、[30 ページの「インターネット接続（メールのみ）の環境設定」画面](#) または [33 ページの「P-P 接続の環境設定」画面](#) を参照してください。

レジストレーション
[再レジストレーション](#)
[お客様情報の更新](#)
環境設定
 [接続情報](#)
 [定期接続情報](#)
 [設定情報エクスポート](#)
 [接続形態の変更](#)
 [証明書の表示](#)
 [証明書の入れ替え](#)
 [前証明書への復元](#)
接続
 [接続確認](#)
 [センター接続一時停止](#)
 [センター接続再開](#)
サポート情報
 [ハード構成情報送信](#)
[REMCSメニューの終了](#)

インターネット(メールのみ)接続の環境設定

SMTPサーバ SMTPポート番号

暗号化接続の種類

発信元E-Mail

認証タイプ

AUTH SMTP認証機構 (【認証タイプ】が【AUTH SMTP】の場合に有効)

ユーザーID (【認証タイプ】が【認証なし】以外の場合に入力必須)

パスワード (【認証タイプ】が【認証なし】以外の場合に入力必須)

POPサーバ

POPポート番号 (【認証タイプ】が【POP Before SMTP】の場合に入力必須)

分割方式

分割サイズ KB (【分割方式】が【分割なし】以外の場合に入力必須)

IPバージョン優先順位

※【SMTPサーバ】と【POPサーバ】にIPv6リンクローカルアドレスを使用する場合、IPv6アドレスとネットワークIFを%で接続して設定してください。

図 36: 「インターネット接続（メールのみ）の環境設定」画面

図 37: 「P-P 接続の環境設定」画面

2. 表示された設定の確認のみを行いますか？

- すべての設定が正しいことを確認した場合：必ず「キャンセル」ボタンをクリックしてすべての設定を確認し、55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面に戻ります。
- 設定を変更する必要がある場合：手順 3 と 4 に進んでください。

3. 必要な設定に変更します。

4. 「次へ」ボタンをクリックして、変更の確認を続行します。「接続確認」画面が表示されます。「72 ページの 接続確認」の手順を完了します。（「接続確認」ボタンをクリックし、「完了」ボタンをクリックします）。



設定を変更した場合、「次へ」ボタンからこの画面を退出し、最終的に「72 ページの 接続確認」の手順を経て、確認を完了する必要があります。それ以外の場合、変更は破棄されます。

5.3.2 定期接続

定期接続スケジュールの表示または変更を行う場合に使用します。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「定期接続」をクリックします。

「定期接続スケジュール設定」画面が表示されます。画面操作について詳しくは、「34 ページの「定期接続スケジュール設定」画面」画面を参照してください。

図 38: 「定期接続スケジュール設定」画面

2. 定期接続スケジュールを変更して、「次へ」ボタンをクリックすると、REMCS センターへのエージェント情報変更通知が行われます。
処理が完了すると、55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面に戻ります。
情報の確認だけの場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面に戻ります。

5.3.3 設定情報エクスポート

お客様情報および環境設定情報をローカルファイルに保存する場合に使用します。

エクスポートした設定情報は、ほかのサーバ上で REMCS サービスの開始処理を行うときに、OS を問わず利用できます。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「設定情報エクスポート」をクリックします。「環境情報・お客様情報のエクスポート」画面が表示されます。



図 39: 「環境情報・お客様情報のエクスポート」画面

2. 「環境情報」または「お客様情報」をクリックします。

ファイル名および格納場所指定ダイアログボックスが表示されるので、下記を指定します。

- お客様情報: `rm_bkcus.def`
- 環境情報: `rm_bkenv.def`

3. 「キャンセル」ボタンをクリックして55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面に戻ります。

5.3.4 接続形態の変更

現在使用している接続形態から、別の接続形態に変更する場合に使用します。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「**接続形態の変更**」をクリックします。
「**接続形態の変更**」画面が表示されます。



図 40: 「接続形態の変更」画面

2. 接続形態を変更後、「次へ」ボタンをクリックします。

それまで設定されていた情報が破棄され、装置状態が「**設定未完了**」となります。「[28 ページの 環境設定 - 初期設定](#)」を参照して情報を再設定し、サービスの開始操作を行う必要があります。

5.3.5 証明書の表示

証明書の内容を確認する場合に使用します。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「**証明書の表示**」をクリックします。

場合に応じた画面が表示されます。

- 「**証明書の表示**」(画面(証明書の入れ替えを行っていない場合)) (「[67 ページの 証明書の入れ替えを行っていない場合に表示される画面](#)」を参照)。
- 「**証明書の表示**」(証明書の入れ替えを行っている場合-使用中) (「[68 ページの 証明書の入れ替えを行っている場合に表示される画面](#)」を参照)。

この場合、「**使用中の証明書**」を選択して、「**表示**」ボタンをクリックします。

- 「**証明書の表示**」画面(表示済み証明書 - 前証明書) [68 ページの「証明書の表示」画面\(証明書の入れ替えを行っている場合の前証明書\)](#)。

この場合、「**前証明書**」を選択して、「**表示**」ボタンをクリックします。

2. 確認して終了する場合は「**終了**」ボタンをクリックします。

「**終了**」をクリックして、[55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面](#)に戻ります。

証明書の入れ替えを行っていない場合に表示される画面

レジストレーション
[再レジストレーション](#)
[お客様情報の更新](#)
 環境設定
[接続情報](#)
[定期接続情報](#)
[設定情報エクスポート](#)
[接続形態の変更](#)
証明書の表示
[証明書の入れ替え](#)
[前証明書への復元](#)
 接続
[接続確認](#)
[センター接続一時停止](#)
[センター接続再開](#)
 サポート情報
[ハード構成情報送信](#)
[REMCSメニューの終了](#)

前証明書への復元

入れ替え前の証明書に戻します。証明書の内容を確認し、よろしければ、【次へ】ボタンをクリックしてください。

《復元される証明書》

発行先	: CN=REMCS Project, O=Fujitsu Limited, S=kanagawa, C=JP
発行者	: CN=remcsproject, O=fujitsu, L=kawasaki city, S=kanagawa, C=JP
有効期限	: 2012/04/26 から 2032/03/29
指印	: sha1 : 02AF6EDB 09A79523 7F1B2D36 80F51C74 0185B1E1 md5 : 91836CEF C0AC6BD8 F62A781F FB604895
公開キー	: --

終了

図 41: 「証明書の表示」画面 (証明書の入れ替えを行っていない場合)

証明書の入れ替えを行っている場合に表示される画面

The screenshot shows a web interface with a sidebar on the left and a main content area. The sidebar contains links for registration, environment settings, connection, and support. The main content area has a title '証明書の表示' (Certificate Display) and a section titled '《使用中の証明書》' (Using Certificate). Below this, a box displays the following information:

発行先	: CN=testh_256, O=Fujitsu Limited, S=KANAGAWA, C=JP
発行者	: CN=remcsproject, O=fujitsu, L=kawasaki city, S=kanagawa, C=JP
有効期限	: 2014/01/17 から 2032/03/13
拇印	: sha1 : EFB8979F FC3B76A4 9268FD03 7502D8B3 7112AD6E md5 : 741CC7AE 6E6EA91E 43431DEE 3A0BBB4A
公開キー	: RSA(2048 Bits)
入替日	: 2023/08/24

Below the box, there are two radio buttons: '使用中の証明書' (selected) and '前証明書' (previous certificate). At the bottom, there are '表示' (display) and '終了' (end) buttons.

図 42: 「証明書の表示」画面（証明書の入れ替えを行っている場合 - 使用中）

証明書の入れ替えを行っている場合に表示される画面（前証明書）

The screenshot shows the same web interface as Figure 42, but with the '前証明書' (previous certificate) selected. The section title is '《前証明書》' (Previous Certificate). The box displays the following information:

発行先	: CN=REMCS Project, O=Fujitsu Limited, S=kanagawa, C=JP
発行者	: CN=remcsproject, O=fujitsu, L=kawasaki city, S=kanagawa, C=JP
有効期限	: 2012/04/26 から 2032/03/29
拇印	: sha1 : 02AF6EDB 09A79523 7F1B2D36 80F51C74 0185B1E1 md5 : 91836CEF C0AC6BD8 F62A781F FB604895
公開キー	: RSA(2048 Bits)
入替日	: 2023/08/24

Below the box, the radio buttons are '使用中の証明書' (unselected) and '前証明書' (selected). The '表示' and '終了' buttons remain at the bottom.

図 43: 「証明書の表示」画面（証明書の入れ替えを行っている場合の前証明書）

5.3.6 証明書の入れ替え

現在使用している証明書を、別の証明書に入れ替える場合に使用します。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「**証明書の入れ替え**」をクリックします。
「証明書の入れ替え」画面が表示されます。

図 44: 「証明書の入れ替え」画面

2. 証明書ファイルを指定し、「**次へ**」ボタンをクリックします。



図 45: 「証明書の確認」画面

- 表示内容を確認して、よければ「次へ」ボタンをクリックします。入れ替えをしない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。
- 次の確認メッセージが表示されます。

「証明書の入れ替えを行います。証明書の入れ替えを行うと、接続確認が完了するまで REMCS センターへの通報は行われません。よろしいですか。」

問題がない場合は「OK」ボタンをクリックします。

- 装置の状態表示が「設定未完了」になります。73 ページの「再接続確認」画面（個人情報削除ありの場合）または72 ページの「再接続確認」画面（個人情報削除なしの場合）が表示されます。
接続確認を行うと「運用中」になります。

5.3.7 前証明書への復元

入れ替えた証明書を、入れ替え前の証明書に戻す場合に使用します。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「前証明書への復元」をクリックします。
「前証明書への復元」画面が表示されます。



図 46: 「前証明書への復元」画面

2. <復元される証明書>の内容を確認して、「次へ」ボタンをクリックします。
復元をしない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。
3. 以下の確認メッセージが表示されます。
「証明書の入れ替えを行います。証明書の入れ替えを行うと、接続確認が完了するまで REMCS センターへの通報は行われません。よろしいですか。」
問題がない場合は「OK」ボタンをクリックします。
4. 装置の状態表示が「設定未完了」になります。73 ページの「接続確認」画面（個人情報削除ありの場合）または72 ページの「接続確認」画面（個人情報削除なしの場合）が表示されます。
接続確認を行うと「運用中」になります。

5.4 接続

5.4.1 接続確認

REMCS センターとの接続を確認する場合に使用します。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「**接続確認**」ボタンをクリックします。
「**接続確認**」画面（個人情報削除なしの場合）または「**接続確認**」画面（個人情報削除ありの場合）が表示されます。

レジストレーション

[再レジストレーション](#)

[お客様情報の更新](#)

環境設定

[接続情報](#)

[定期接続情報](#)

[設定情報エクスポート](#)

[証明書を表示](#)

[証明書の入れ替え](#)

[前証明書への復元](#)

接続

[接続確認](#)

[センター接続一時停止](#)

[センター接続再開](#)

サポート情報

[ハード構成情報送信](#)

[REMCSメニューの終了](#)

接続確認

REMCSセンターとの接続を確認します。回線によっては、処理が完了するまでに時間がかかる場合があります。

・ お客様管理者 (isibasi.naoyosi@jp.fujitsu.com) への結果通知

☒ 通知する。

☐ 通知しない。

・ 実施者への結果通知（お客様管理者以外にも送信する場合に設定してください。）

☐ 通知する。（通常形式）

☐ 通知する。（携帯電話向け簡易形式）

☒ 通知しない。

結果通知先E-mailアドレス

接続確認

キャンセル

図 47: 「接続確認」画面（個人情報削除なしの場合）

レジストレーション
再レジストレーション
[お客様情報の更新](#)
環境設定
[接続情報](#)
[定期接続情報](#)
[設定情報エクスポート](#)
[接続形態の変更](#)
[証明書の表示](#)
[証明書の入替え](#)
[前証明書への復元](#)
接続
[接続確認](#)
[センター接続一時停止](#)
[センター接続再開](#)
サポート情報
[ハード構成情報送信](#)
[REMCSメニューの終了](#)

接続確認

REMCSセンターとの接続を確認します。回線によっては、処理が完了するまでに時間がかかる場合があります。

・ **お客様管理者への結果通知**
☒ 通知する。 ☐ 通知しない。
お客様管理者E-mailアドレス
※アドレスを入力しないで「通知する」を選択した場合はセンター登録済みのお客様管理者E-Mailアドレスに結果が通知されます。

・ **実施者への結果通知（お客様管理者以外にも送信する場合に設定してください。）**
☐ 通知する。（通常形式） ☐ 通知する。（携帯電話向け簡易形式）
☒ 通知しない。
結果通知先E-mailアドレス

図 48: 「接続確認」画面（個人情報削除ありの場合）

2. 接続結果の送信先設定を確認し、「**接続確認**」ボタンをクリックします。
3. 「**接続結果**」画面が表示されます。

「OK」ボタンをクリックします。55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面に戻ります。

レジストレーション
再レジストレーション
[お客様情報の更新](#)
環境設定
[接続情報](#)
[定期接続情報](#)
[設定情報エクスポート](#)
[接続形態の変更](#)
[証明書の表示](#)
[証明書の入替え](#)
[前証明書への復元](#)
接続
[接続確認](#)
[センター接続一時停止](#)
[センター接続再開](#)
サポート情報
[ハード構成情報送信](#)
[REMCSメニューの終了](#)

接続確認結果

RMG_0058: 接続確認に成功しました。

REMCSセンターで確認完了後、管理者あてに通知メールが送り返されます。

図 49: 「接続確認結果」画面

「**接続確認**」画面で表示された結果通知先 E-Mail アドレス宛てに接続確認完了を通知するメールが届きます。

5.4.2 センター接続一時停止

REMCS センターとの接続を一時的に停止する場合に使用します。

- サーバが保守や休日などで停止して定期接続ができないときに、REMCS センターとの接続を停止させます。
- REMCS センターとの接続を停止している間は、REMCS センターへの通信を一切行いません。
- REMCS センターとの接続を停止した後、システムの運用を再開するときには、「**センター接続再開**」を行う必要があります。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「**センター接続一時停止**」をクリックします。

「**センター接続一時停止**」画面が表示されます。



図 50: 「センター接続一時停止」画面

2. 「**接続停止**」ボタンをクリックします。確認ダイアログボックスが表示され、接続一時停止通知が REMCS センターに送信されます。

処理後、結果がポップアップで通知されます。

次に、55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面が表示されます。

5.4.3 センター接続再開

一時停止していた REMCS センターとの接続を再開する場合に使用します。

- 装置の運用状態が「**接続停止中**」であった場合は「**運用中**」になります。
- 「**保守中・接続停止中**」であった場合は「**保守中**」になります。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「**センター接続再開**」をクリックして「**センター接続再開**」画面を表示します。



図 51: 「センター接続再開」画面

2. 「**センタ接続再開**」ボタンをクリックします。確認ダイアログボックスを表示し、接続再開通知を REMCS センターに送信します。

処理後、結果がポップアップで通知されます。

次に、55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面が表示されます。

5.5 サポート情報

5.5.1 ハード構成情報送信

サーバのハードウェアの構成情報を REMCS センターに送信する場合に使用します。

1. 「REMCS」初期画面のメニューから、「ハード構成情報送信」をクリックします。**情報**をクリックして「ハード構成情報送信」画面を表示します。



図 52: 「ハード構成情報送信」画面

2. 「送信」ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスを表示し、REMCS センターにハードウェア構成情報を送信します。

処理後、結果がポップアップで通知されます。次に、55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面が表示されます。

5.6 REMCS メニューの終了

REMCS メニューの終了に使用します。

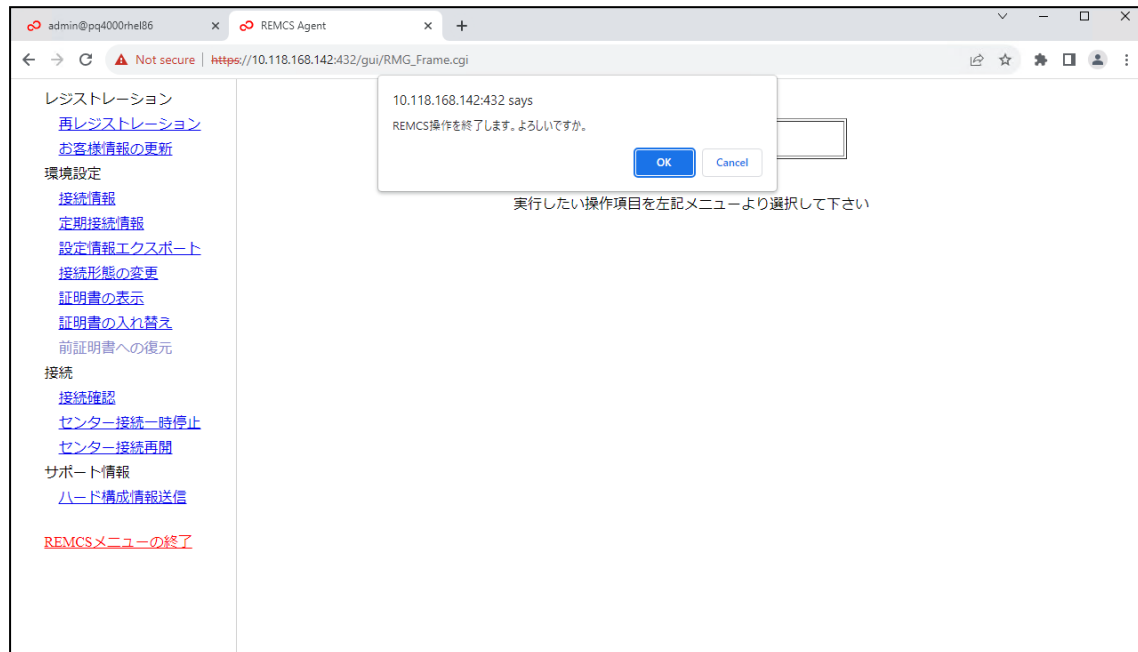


図 53: REMCS メニューの終了

OK

REMCS メニューを閉じます。

キャンセル

変更を行わずにアクションをキャンセルし、55 ページの「REMCS メニュー」の初期画面に戻ります。

6 REMCS サービスの詳細設定（CE 操作メニュー）

6.1 REMCS サービスの詳細設定 - 概要

送信トラブルを回避するための送信リトライ回数やタイムアウト時間などの詳細な設定や、接続先 REMCS センターを変更したり、表示する装置名を切り替えたりする場合に使用します。

通常は使用する必要のない機能です。担当保守員またはサポートセンタからの指示があった場合に設定してください。

REMCS サービスの詳細設定に使用する画面は、iRMC Web インターフェースの「管理」 - 「詳細設定」 - 「REMCS」 - 「詳細設定を開く」を選択して起動します。



- 2パーティション構成の場合、REMCS メニューは SB#0 の iRMC Web インターフェースから開きます。
iRMC Web インターフェースの REMCS アプリケーションメニューで「詳細設定を開く」が無効になっているため、SB#1 の iRMC Web インターフェースから REMCS メニューを開けません。SB#0 の iRMC Web インターフェースから行われたレジストレーションなどの設定変更は、SB#1 の iRMC に自動反映されます。
- ホーム以外の SB と空き SB では REMCS を起動できません。

REMCS CE メニューの初期画面が表示されます。



図 54: 「REMCS CE メニュー」 初期画面

項目	説明
環境詳細情報	インターネット使用時の通信のタイムアウト時間、リトライ回数などを変更します。
接続先 REMCS センター	接続先 REMCS センターを変更します。
日本語/英語切替え	表示言語を日本または英語に切り替えます。
装置名表示の切替え	Web インターフェースに表示する装置名を装置 ID またはユニーク名のどちらかに設定します。
個人情報削除	お客様情報に含まれる個人情報を削除します。
SSL 証明書の表示	SMTP サーバによって取得された SSL 証明書は、SMTP over SSL で送信が完了し、 暗号化接続の種類が STARTTLS！SSL/TLS の場合にのみ表示されます(28 ページの 環境設定 - 初期設定 を参照)。 SSL 証明書が存在しない場合は、以下のメッセージが出力されます。 「RMG_0229:SSL 証明書が存在しません」
接続センターリストの入れ替え	接続先センターリストを入れ替えます。
REMCS CE メニューの終了	REMCS CE メニューを閉じます。

テーブル 4: REMCS CE メニュー初期画面の項目

6.2 環境詳細情報

インターネット使用時の通信環境の設定を変更する場合に使用します。



設定を行う場合は十分に注意してください。設定を誤ると REMCS センターにイベントが送信できなくなる場合があります。

現在の設定条件（インターネット接続（メールのみ）または P-P 接続）に応じて、該当する画面が表示されます。

- 「インターネット接続（メールのみ）」の場合は、以下を参照してください。
- 環境が P-P 接続に設定されている場合は、[84 ページの P-P 接続の場合](#)を参照してください。

「インターネット接続（メールのみ）」の場合

- REMCS CE メニューの初期画面から「環境詳細情報」を選択します。「環境詳細設定」画面（インターネット接続（メールのみ）の場合）が表示されます。

環境詳細設定画面

E-Mail設定

タイムアウト時間 秒 リトライ回数 リトライ間隔 秒

SMTPサーバ SMTPポート番号

暗号化接続の種類

認証設定

認証タイプ

AUTH SMTP認証機構 (【認証タイプ】が【AUTH SMTP】の場合に有効)

ユーザID (【認証タイプ】が【認証なし】以外の場合に必須)

パスワード (【認証タイプ】が【認証なし】以外の場合に必須)

POP設定(【認証タイプ】に【POP Before SMTP】指定時)

POPサーバ POPポート番号

POP認証後のメール送信待機時間 ms

接続制御

IPバージョン優先順位

その他

発信元E-Mail

分割方式

分割サイズ KB (【分割方式】が【分割なし】以外の場合に必須)

HELO/EHLOに指定するドメイン名

※ 【SMTPサーバ】と【POPサーバ】にIPv6リンクローカルアドレスを使用する場合、IPv6アドレスとネットワークIFを%で接続して設定してください。

図 55: 「環境詳細設定」画面（インターネット接続（メールのみ）の場合）

- 値を入力します。

E-Mail 設定

タイムアウト時間

E-Mail 用タイムアウト時間（秒）を半角数字で入力します。

範囲：60～3600

リトライ回数

E-Mail 用リトライ回数を半角数字で入力します。

最大桁数: 2

リトライ間隔

E-Mail 用リトライ間隔を半角数字で入力します。

範囲：1～600

SMTP サーバ

メール(SMTP)サーバ名、または IP アドレスを半角英数記号で入力します。

最大桁数: 128

SMTP ポート番号

メール(SMTP)サーバのポート番号を半角数字で入力します。

初期値：25（Well Known Port を使用）

範囲：1～65535

暗号化接続の種類

SMTP over SSL の暗号化接続の種類を選択します。

- なし（初期値）
- STARTTLS
- SSL/TLS

認証設定

認証タイプ

認証タイプを選択します。

- なし
- AUTO（初期設定）
- POP before SMTP
- AUTH SMTP

AUTH SMTP 認証機構

(認証タイプで AUTH SMTP を設定した場合のみエントリが有効)

SMTP 認証の選択

- AUTO (初期値)
- CRAM-MD5
- PLAIN
- LOGIN

ユーザー ID

(認証タイプが 認証なし 以外の場合は必須)

認証サーバのユーザー IDを半角英数記号で入力します。

最大桁数: 128

パスワード

(認証タイプが 認証なし 以外の場合は必須)

認証サーバのパスワードを半角英数記号で入力します。

最大桁数: 128

入力値はすべて * で表示されます。

POP 設定 (認証タイプ が POP Before SMTP の場合)

POP サーバ

(認証タイプが POP Before SMTP の場合は必須)

POP サーバ名、または IP アドレスを半角英数記号で入力します。

最大桁数: 128

POP ポート番号

POP3 認証サーバのポート番号を半角数字で入力します。

初期値: 110 (Well Known Port を使用)

範囲: 1~65535

POP 認証後のメール送信待機時間

POP3 認証後、メール送信を開始するまでの待ち時間 (ミリ秒) を半角数字で入力します。

推奨値: 1000 ms

範囲: 0~30000

接続制御

IP バージョン優先順位

IP バージョンの優先順位を選択します。

- なし
- IPv4 (初期設定)
- IPv6

その他

発信元 E-Mail

発信元 E-Mail アドレスを半角英数記号で入力します。
最大桁数: 128

分割方式

分割方式を選択します。

- 分割なし
- イベント分割（初期値）

分割サイズ

（分割方式が **分割なし** 以外の場合は必須）
分割するサイズを半角数字で入力します。
範囲：64～512 KB
初期値：512 KB

HELO/EHLO に指定するドメイン名

HELO/EHLO に指定するドメイン名を、半角英数字、'.'（ピリオド）、または '-'（ハイフン）を使用して入力します。
ハイフンは、各ラベルの先頭または末尾（ピリオドで区切られた部分）には使用できません。
最大桁数: 253

3. 「設定」ボタンをクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されるので、設定内容を登録します。

処理後、結果がポップアップで表示され、[78 ページの「REMCS CE メニュー」初期画面](#)に戻ります。



運用中、保守中または接続停止中に「[73 ページの「接続確認」画面（個人情報削除ありの場合）](#)」画面（個人情報削除なしの場合）または「[72 ページの「接続確認」画面（個人情報削除なしの場合）](#)」画面（個人情報削除ありの場合）が表示されます。

- 接続結果の送信先設定を確認し、「**接続確認**」ボタンをクリックします。「[73 ページの「接続確認結果」画面](#)」画面が表示されます。
- 「OK」ボタンをクリックします。[78 ページの「REMCS CE メニュー」初期画面](#)に戻ります。

P-P 接続の場合

1. REMCS CE メニューの初期画面から「環境詳細情報」を選択します。「環境詳細設定」画面（P-P 接続時）が表示されます。

The screenshot shows the '環境詳細設定画面' (Environment Detailed Setting Screen) for P-P connection. On the left is a sidebar menu with options like '環境詳細情報', '接続先REMCSセンター', '日本語/英語切替え', '認証名表示の切替え', '個人情報削除', 'SSL証明書表示', '接続先センターリストの入れ替え', and 'REMCS CEメニューの終了'. The main area is titled '環境詳細設定画面' and contains the following settings:

- E-Mail設定**
 - タイムアウト時間: 60 秒
 - リトライ回数: 5
 - リトライ間隔: 30 秒
 - SMTP/PROXYサーバ: [Text Input Field]
- その他**
 - 発信元E-Mail: [Text Input Field]
 - 分割方式: イベント分割 (dropdown menu)
 - 分割サイズ: 512 KB (【分割なし】が【分割なし】以外の場合に入力必須)
 - HELO/EHLOに指定するドメイン名: [Text Input Field]

At the bottom, there is a note: ※【SMTP/PROXYサーバ】にIPv6リンクローカルアドレスを使用する場合、IPv6アドレスとネットワークI/Fを%で接続して設定してください。 Below the note are '次へ' (Next) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

図 56: 「環境詳細設定」画面（P-P 接続時）

2. 値を入力します。

E-Mail 設定

タイムアウト時間

E-Mail 用タイムアウト時間（秒）を半角数字で入力します。
範囲：60～3600

リトライ回数

E-Mail 用リトライ回数を半角数字で入力します。
最大桁数: 2

リトライ間隔

E-Mail 用リトライ間隔を半角数字で入力します。
範囲：1～600

SMTP/PROXY サーバ

SMTP/PROXY サーバ名、または IP アドレスを半角英数記号で入力します。
最大桁数: 128

その他

発信元 E-Mail

発信元 E-Mail アドレスを半角英数記号で入力します。
最大桁数: 128

分割方式

分割方式を選択します。

- 分割なし
- イベント分割（初期値）

分割サイズ

（分割方式が **分割なし** 以外の場合は必須）

分割するサイズを半角数字で入力します。

範囲：64～512 KB

初期値：512 KB

HELO/EHLO に指定するドメイン名

HELO/EHLO に指定するドメイン名を、半角英数字、'.'（ピリオド）、または '-'（ハイフン）を使用して入力します。

ハイフンは、各ラベルの先頭または末尾（ピリオドで区切られた部分）には使用できません。

最大桁数: 253

3. 「設定」ボタンをクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されるので、設定内容を登録します。

処理後、結果がポップアップで表示され、[78 ページの「REMCS CE メニュー」初期画面](#)に戻ります。



運用中、保守中または接続停止中に「[73 ページの「接続確認」画面（個人情報削除ありの場合）](#)」画面（個人情報削除なしの場合）または「[72 ページの「接続確認」画面（個人情報削除なしの場合）](#)」画面（個人情報削除ありの場合）が表示されます。

- 接続結果の送信先設定を確認し、「**接続確認**」ボタンをクリックします。「[73 ページの「接続確認結果」画面](#)」画面が表示されます。
- 「OK」ボタンをクリックします。[78 ページの「REMCS CE メニュー」初期画面](#)に戻ります。

6.3 接続先 REMCS センター

REMCS センターの接続先を変更する場合に使用します。

1. REMCS CE メニューの初期画面から「**接続先 REMCS センターの設定**」を選択し、「**接続先 REMCS センターの設定**」画面を表示します。



図 57: 「接続先 REMCS センターの設定」画面

2. 接続先センターを選択します。直接入力できません。あらかじめ提供されている接続先一覧表から選択します。初期値は現在のセンター名です
3. 「**設定**」ボタンをクリックします。確認ダイアログボックスを表示し、設定内容を登録します。

処理後、結果がポップアップで通知され、[78 ページの「REMCS CE メニュー」初期画面](#)に戻ります。

6.4 日本語/英語切替え

表示言語を日本語または英語に切り替える場合に使用します。

1. REMCS CE メニューの初期画面から「日本語/英語の切替え」を選択して、「日本語/英語の切替え」画面を表示します。初期値は、現在の設定値です。

CE操作メニュー

- [環境詳細情報](#)
- [接続先REMCSセンター](#)
- [日本語/英語切替え](#)
- [装置名表示の切替え](#)
- [個人情報削除](#)
- [SSL証明書の表示](#)
- [接続先センターリストの入れ替え](#)
- [REMCS CEメニューの終了](#)

日本語/英語の切替え

☒ 日本語
☐ 英語

設定 キャンセル

図 58: 「日本語/英語の切替え」画面

2. 日本語または英語を指定します。
3. 「設定」ボタンをクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されるので、設定内容を登録します。

処理後、結果がポップアップで通知され、78 ページの「REMCS CE メニュー」初期画面に戻ります。

6.5 装置名表示の切替え

GUI に表示する装置名を、装置 ID または「36 ページの「お客様情報設定」画面」画面で設定した装置ユニーク名に切り替える場合に使用します。

1. 「REMCS CE メニュー」の初期画面から、「装置名表示の切替え」を選択して、「装置 ID/ユニーク名の切替え」画面を表示します。

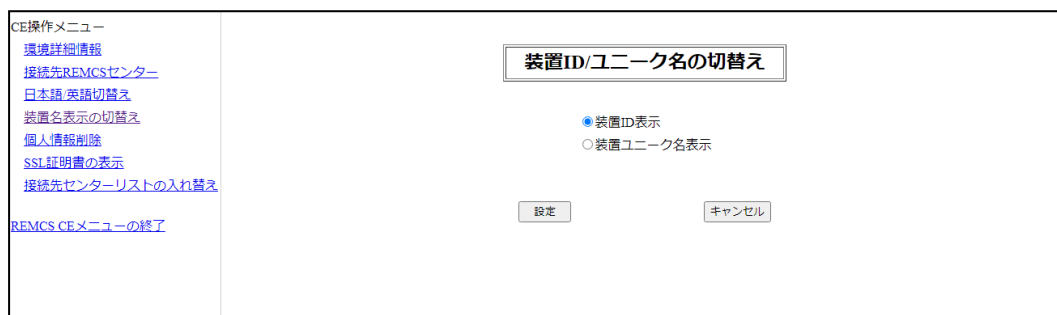


図 59: 「装置 ID/ユニーク名の切替え」画面

2. 状態表示フレームに表示する装置名を指定します。初期値は、現在の設定値です。
3. 「設定」ボタンをクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されるので、設定内容を登録します。

処理後、結果がポップアップで通知され、78 ページの「REMCS CE メニュー」初期画面に戻ります。

6.6 個人情報削除

レジストレーション後に、お客様情報の個人情報を削除する場合に使用します。

1. REMCS CE メニューの初期画面から「個人情報削除」を選択し、「個人情報削除」画面を表示します。

図 60: 「個人情報削除」画面

2. 「削除」ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。実行後、結果がポップアップで通知されます。78 ページの「REMCS CE メニュー」初期画面が再び表示されます。

6.7 SSL 証明書の表示

証明書を表示して SSL を確認するために使用します。

1. REMCS CE メニュー の初期画面メニューから「SSL 証明書の表示」を選択し、「証明書の表示」画面 (SSL) を表示します。



図 61: 「証明書の表示」画面

2. 内容を読み、「終了」ボタンをクリックして確定します。78 ページの「REMCS CE メニュー」初期画面が再び表示されます。

6.8 接続センターリストの入れ替え

この機能は、接続センターリストの入れ替えに使用します。

1. REMCS CE メニューの初期画面から、「**接続センターリストの入れ替え**」を選択します。「**接続センターリストの入れ替え**」画面が表示されます。



図 62: 「接続センターリストの入れ替え」画面

2. 「**ファイル選択**」をクリックしてファイル検索ウィンドウを開きます（ブラウザ機能）。
3. ファイルブラウザで、接続先リストファイルを検索して選択し、確定します。
4. 「**登録**」をクリックして選択したファイルを登録します。

REMCS センターのレジストレーション後、結果がポップアップで報告され、[86 ページ](#)の「**接続先 REMCS センターの設定**」画面が表示されます。

6.9 REMCS CE メニューの終了

REMCS CE メニューの終了に使用します。



図 63: REMCS CE メニューの終了

OK

REMCS CE メニューを閉じます。

キャンセル

変更を行わずにアクションをキャンセルし、78 ページの「REMCS CE メニュー」初期画面に戻ります。

7 iRMC のログ収集について

REMCS センターにメール送信ができない場合などのトラブル発生時に、調査資料として iRMC の動作ログが必要になることがあります。サポートセンターの指示に従います。

1. iRMC Web インターフェースメニューから、「管理」 - 「保守」 - 「レポート」の順に選択します。
2. 「ログの生成とログのダウンロード」 を実行して、iRMC が保守するログをダウンロードします。

運用の詳細については、『PRIMEQUEST 4000 Series iRMC S6 Web インターフェース』の 2.5.3 の「保守ウィンドウ」の項を参照してください。

ダウンロードしたログファイルは、担当保守員に渡してください。

8 REMCS メッセージ

REMCS メッセージは、以下の概要にリストされています。

- 95 ページの 全画面共通のメッセージ
- 96 ページの GUI 起動時のメッセージ
- 98 ページの メニューフレームのメッセージ
- 99 ページの 状態表示フレームのメッセージ
- 99 ページの 設定進捗表示フレームのメッセージ
- 100 ページの 「お客様登録のご案内」画面のメッセージ
- 100 ページの 初期画面のメッセージ
- 101 ページの 初期設定画面のメッセージ
- 102 ページの 「環境情報・お客様情報のインポート」画面のメッセージ
- 103 ページの 「自動レジストレーション結果」画面のメッセージ
- 104 ページの 「環境設定(インターネット(メールのみ))」画面のメッセージ
- 106 ページの 「環境設定(P-P)」画面のメッセージ
- 108 ページの 「定期接続スケジュール設定」画面のメッセージ
- 110 ページの 「お客様登録のご案内」画面のメッセージ
- 112 ページの 「入力情報の確認」画面のメッセージ
- 113 ページの 「情報送信に関する合意事項」画面のメッセージ
- 114 ページの 「レジストレーション結果」画面のメッセージ
- 115 ページの 「環境情報・お客様情報のエクスポート」画面のメッセージ
- 116 ページの 「接続確認」画面または「接続確認情報」画面のメッセージ
- 117 ページの 「接続確認結果」画面のメッセージ
- 118 ページの 「センター接続一時停止」画面または「センター接続再開」画面のメッセージ
- 119 ページの 「ハード構成情報送信」画面のメッセージ
- 120 ページの REMCS CE メニュー初期画面の項目
- 121 ページの 「環境詳細設定」画面のメッセージ
- 123 ページの 「接続先REMCSセンターの設定」画面のメッセージ
- 124 ページの 「日本語/英語の切替え」画面のメッセージ

- 126 ページの「装置ID/ユニーク名の切替え」画面のメッセージ
- 126 ページの 処理進捗表示画面のメッセージ
- 127 ページの「個人情報削除」画面のメッセージ
- 127 ページの「証明書の入れ替え」画面のメッセージ
- 130 ページの「前証明書への復元」画面のメッセージ
- 131 ページの「証明書の表示」画面のメッセージ
- 132 ページの「証明書の表示」画面のメッセージ (SSL)
- 132 ページの [接続センターの一覧の置換] ウィンドウのメッセージ

SMTP メッセージは、次の場所にリストされます。

- 134 ページの 通信エラーメッセージ (SMTP 通信)

8.1 REMCS 画面のメッセージ

ここでは、REMCS 画面に表示されるメッセージを説明します。

メッセージの xxx は、復帰値などの文字列を置換して出力するために使用しています。

全画面共通のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0150	定義ファイル情報のアクセスに失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0225	セッション情報の取得に失敗しました。(xxx)	REMCS 画面操作が必要であれば、REMCS 画面を再度起動します。

テーブル 5: 全画面共通のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_1121	接続されていません。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_1123	接続されていません。	
RMG_1125	一定時間アクセスがなかったためタイムアウトされました。	
RMG_1135	接続されていません。	

テーブル 5: 全画面共通のメッセージ

GUI 起動時のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。(xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0007	装置 ID の取得に失敗しました。(xxx)	
RMG_0012	言語環境の切替えを行いました。	なし。

テーブル 6: GUI 起動時のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0013	CGI パラメーターに誤りがあります。	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0014	言語の切替えに失敗しました。 (xxx)	
RMG_0018	登録情報の取得に失敗しました。 (xxx)	
RMG_0041	装置状態の設定に失敗しました。 (xxx)	
RMG_0164	日本語の切替えに失敗しました。 (xxx)	
RMG_0165	英語の切替えに失敗しました。 (xxx)	
RMG_0166	日本語切替え処理を行いました。	引き続き、レジストレーションを行います。
RMG_0167	英語切替え処理を行いました。	
RMG_0172	出荷先取得処理に失敗しました。 (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0188	設定ファイルの異常を検出したため、初期化を行いました。	レジストレーションを実行します。
RMG_0193	REMCS のモジュールがないため、REMCS フレームは表示されません。	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。

テーブル 6: GUI 起動時のメッセージ

メニューフレームのメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0005	フレーム画面展開に成功しました。	なし。
RMG_0006	接続形態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0035	REMCS 操作を終了します。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。

テーブル 7: メニューフレームのメッセージ

状態表示フレームのメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0006	接続形態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	
RMG_0065	お客様情報の登録に失敗しました。(xxx)	

テーブル 8: 状態表示フレームのメッセージ

設定進捗表示フレームのメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0035	REMCS 操作を終了します。よろしいですか。	
		「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。

テーブル 9: 設定進捗表示フレームのメッセージ

「お客様登録のご案内」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0010	お客様登録のご案内画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0018	登録情報の取得に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。

テーブル 10: 「お客様登録のご案内」画面のメッセージ

初期画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0008	初期画面表示処理に成功しました。	なし。

テーブル 11: 初期画面のメッセージ

初期設定画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0006	接続形態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	
RMG_0011	初期設定画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0025	接続形態の設定に失敗しました。 (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0026	接続形態を xxx に変更しました。	なし。
RMG_0027	装置状態の変更に失敗しました。 (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0241	接続形態を変更した場合、REMCS センターに通知されません。再度レジストレーション操作を行ってください。 接続形態を変更しますか？	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。

テーブル 12: 初期設定画面のメッセージ

「環境情報・お客様情報のインポート」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0027	装置状態の変更に失敗しました。(xxx)	
RMG_0032	入力されたファイルはインポート対象外です。	正しいファイルを入力します。
RMG_0033	入力されたディレクトリが正しくありません。	正しいディレクトリを入力します。
RMG_0036	入力必須項目です。	正しく入力します。
RMG_0096	サポートしていない接続形態が含まれるため、環境情報をインポートできません。	サポートされている接続方式のファイルを入力します。
RMG_0116	環境情報およびお客様情報をインポートする場合は、レジストレーションを実施する必要があります。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0118	環境情報、お客様情報のインポートに失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0119	環境情報、お客様情報のインポートに成功しました。	なし。
RMG_0142	入力されたディレクトリにファイルが存在しません。	ファイルの存在するディレクトリを入力します。

テーブル 13: 「環境情報・お客様情報のインポート」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0143	環境情報ファイルに誤りがあります。	正しいファイルを入力し再度実行します。
RMG_0144	お客様情報ファイルに誤りがあります。	
RMG_0174	環境ファイルの接続形態の確認に失敗しました。(xxx)	サポートされている接続方式のファイルを入力します。
RMG_0192	Web ブラウザがサポートされていないため、ファイルはインポートされません。	サポートされているブラウザを使用して、再試行してください。
RMG_0194	お客様情報ファイルに必須項目が無いいため、自動レジストレーションができません。	お客様情報ファイルの内容を確認し、誤りを修正後、再度実行します。
-	自動レジストレーションの後に個人情報削除しますか？	「削除」または「削除しない」ボタンをクリックします。

テーブル 13: 「環境情報・お客様情報のインポート」画面のメッセージ

「自動レジストレーション結果」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0038	自動レジストレーションを開始しました。	なし。
RMG_0039	自動レジストレーションに成功しました。	

テーブル 14: 「自動レジストレーション結果」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0040	自動レジストレーションに失敗しました。(xxx:xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。

テーブル 14: 「自動レジストレーション結果」画面のメッセージ

「環境設定(インターネット(メールのみ))」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。(xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0006	接続形態の取得に失敗しました。(xxx) (MachineID=xxx)	
RMG_0015	入力値に指定できない文字が含まれています。	入力値を修正します。
RMG_0016	入力値が範囲外です。	
RMG_0018	登録情報の取得に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。

テーブル 15: 「環境設定(インターネット(メールのみ))」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0030	POP サーバを指定する場合は、 【ユーザー ID】 / 【パスワード】 / 【POP サーバ】 を指定してください。	POP サーバの仕様を修正します。
RMG_0031	AUTH SMTP 認証情報の指定に誤りがあります。 AUTH SMTP 認証を指定する場合は、【ユーザー ID】 / 【パスワード】 を指定してください。	AUTH SMTP の仕様を修正します。
RMG_0036	入力必須項目です。正しく入力します。	正しく入力します。
RMG_0037	環境設定の登録を行います。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0041	装置状態の設定に失敗しました。 (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0043	環境設定(インターネット(メールのみ))の登録に失敗しました。 (xxx)	
RMG_0044	環境設定(インターネット(メールのみ))登録に成功しました。	なし。
RMG_0095	接続形態が異なるため実行できません。	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0181	E-mail アドレスに誤りがあります。	正しく入力します。
RMG_0189	環境設定が完了するまで REMCS センターへの通報は行われません。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。

テーブル 15: 「環境設定(インターネット(メールのみ))」 画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0208	【分割サイズ】の入力値に誤りがあります。64～512 の範囲で指定してください。	正しく入力します。
RMG_0226	IPv6アドレスの指定に誤りがあります。	
RMG_0227	リンクローカルアドレス指定の場合、ネットワークI/Fは必須です。	
RMG_0228	リンクローカルアドレス指定ではないので、ネットワークI/Fは不要です。	

テーブル 15: 「環境設定(インターネット(メールのみ))」画面のメッセージ

「環境設定(P-P)」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0006	接続形態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	
RMG_0015	入力値に指定できない文字が含まれています。	入力値を修正します。

テーブル 16: 「環境設定(P-P)」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0018	登録情報の取得に失敗しました。 (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0028	全ての項目を入力してください。	未入力の項目を入力します。
RMG_0037	環境設定の登録を行います。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0041	装置状態の設定に失敗しました。 (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0079	環境設定 (P-P) 画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0080	REMCS 環境設定 (P-P) の登録に失敗しました。 (xxx)	入力した SMTP サーバの FQDN、または IP アドレスを確認します。 また、ネットワークの状態が正常かどうか確認します。
RMG_0081	環境設定 (P-P) 登録に成功しました。	なし。
RMG_0095	接続形態が異なるため実行できません。	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0181	E-mail アドレスに誤りがあります。	正しく入力します。

テーブル 16: 「環境設定(P-P)」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0189	環境設定が完了するまで REMCS センターへの通報は行われません。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0208	【分割サイズ】 の入力値に誤りがあります。64～512 の範囲で指定してください。	正しく入力します。
RMG_0226	IPv6アドレスの指定に誤りがあります。	
RMG_0227	リンクローカルアドレス指定の場合、ネットワークI/Fは必須です。	
RMG_0228	リンクローカルアドレス指定ではないので、ネットワークI/Fは不要です。	

テーブル 16: 「環境設定(P-P)」 画面のメッセージ

「定期接続スケジュール設定」 画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0006	接続形態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	

テーブル 17: 「定期接続スケジュール設定」 画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0015	入力値に指定できない文字が含まれています。	入力値を修正します。
RMG_0016	入力値が範囲外です。	
RMG_0018	登録情報の取得に失敗しました。 (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0027	装置状態の変更に失敗しました。 (xxx)	
RMG_0036	入力必須項目です。	正しく入力します。
RMG_0048	運用終了時間の設定が正しくありません。	運用開始時間を確認し、正しい時間を設定します。
RMG_0049	定期接続スケジュールの登録を行います。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0050	定期接続スケジュール画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0051	定期接続スケジュールの登録に失敗しました。(xxx)	ネットワークの状態が正常かどうか確認します。
RMG_0052	定期接続スケジュールの設定に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0054	定期接続スケジュールの登録に成功しました。	なし。
RMG_0056	接続確認処理に失敗しました。 (xxx)	ネットワークの状態が正常かどうか確認します。
RMG_0186	エージェント変更通知処理に失敗しました。(xxx)	
RMG_0187	エージェント情報送信処理に失敗しました。(xxx)	

テーブル 17: 「定期接続スケジュール設定」 画面のメッセージ

「お客様登録のご案内」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0006	接続形態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	
RMG_0015	入力値に指定できない文字が含まれています。	入力値を修正します。
RMG_0029	入力桁数に誤りがあります。	正しい桁数で入力します。
RMG_0036	入力必須項目です。	正しく入力します。
RMG_0065	お客様情報の登録に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0066	お客様情報画面表示処理に成功しました。	なし。

テーブル 18: 「お客様登録のご案内」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0068	お客様情報の【法人名】に指定できない文字が含まれています。	指定できる文字を確認し修正します。
RMG_0069	お客様情報の【部署名】に指定できない文字が含まれています。	
RMG_0070	お客様情報の【ご住所】に指定できない文字が含まれています。	
RMG_0071	お客様情報の【ビル名称】に指定できない文字が含まれています。	
RMG_0072	お客様情報の【管理者のお名前】に指定できない文字が含まれています。	
RMG_0073	お客様情報の【設置場所】に指定できない文字が含まれています。	
RMG_0074	お客様情報の【設置場所のビル名称】に指定できない文字が含まれています。	
RMG_0075	お客様情報の【法人名(カナ)】に指定できない文字が含まれています。	
RMG_0076	お客様情報の【管理者のお名前(カナ)】に指定できない文字が含まれています。	
RMG_0181	E-mail アドレスに誤りがあります。	正しく入力します。

テーブル 18: 「お客様登録のご案内」画面のメッセージ

「入力情報の確認」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0041	装置状態の設定に失敗しました。(xxx)	
RMG_0067	お客様情報確認画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0077	お客様情報の登録に失敗しました。。(xxx) (xxx)	iRMC の「Network Interface」設定で HOSTNAME が設定されているか確認します。再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0078	お客様情報の登録に成功しました。	なし。

テーブル 19: 「入力情報の確認」画面のメッセージ

「情報送信に関する合意事項」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0006	接続形態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	
RMG_0041	装置状態の設定に失敗しました。 (xxx)	
RMG_0082	新規レジストレーションを起動しました。	なし。
RMG_0083	更新レジストレーションを起動しました。	
RMG_0084	情報送信に関する合意事項画面表示処理に成功しました。	
RMG_0085	新規レジストレーション処理に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0086	新規レジストレーションを行いました。	なし。

テーブル 20: 「情報送信に関する合意事項」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0088	更新レジストレーション処理に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0089	更新レジストレーションを行いました。	なし。
RMG_0128	レジストレーション処理を呼び出しました。	
RMG_0129	しばらくお待ちください。	

テーブル 20: 「情報送信に関する合意事項」画面のメッセージ

「レジストレーション結果」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。(xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0082	新規レジストレーションを起動しました。	なし。
RMG_0083	更新レジストレーションを起動しました。	
RMG_0085	新規レジストレーション処理に失敗しました。(xxx)	ネットワークの状態が正常かどうか確認します。

テーブル 21: 「レジストレーション結果」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0086	新規レジストレーションを行いました。	なし。
RMG_0087	レジストレーション結果画面表示処理に成功しました。	
RMG_0088	更新レジストレーション処理に失敗しました。（xxx）	ネットワークの状態が正常かどうか確認します。
RMG_0089	更新レジストレーションを行いました。	なし。

テーブル 21: 「レジストレーション結果」画面のメッセージ

「環境情報・お客様情報のエクスポート」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。（xxx）	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0015	入力値に指定できない文字が含まれています。	入力値を修正します。
RMG_0033	入力されたディレクトリが正しくありません。	正しくディレクトリを入力します。
RMG_0036	入力必須項目です。	項目の入力をします。
RMG_0120	環境情報・お客様情報エクスポート画面表示処理に成功しました。	なし。

テーブル 22: 「環境情報・お客様情報のエクスポート」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0121	環境情報のエクスポートに失敗しました。(xxx) (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0122	お客様情報のエクスポートに失敗しました。(xxx)	
RMG_0123	環境情報をエクスポートしました。	なし。
RMG_0124	お客様情報をエクスポートしました。	
RMG_0125	お客様情報をエクスポートします。	「OK」ボタンまたは「キャンセル」ボタンをクリックします。
RMG_0126	環境情報をエクスポートします。	
-	エクスポート終了後、この画面を閉じてください。	エクスポート終了後に画面を閉じます。

テーブル 22: 「環境情報・お客様情報のエクスポート」画面のメッセージ

「接続確認」画面または「接続確認情報」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。(xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0015	入力値に指定できない文字が含まれています。	入力値を修正します。

テーブル 23: 「接続確認」画面または「接続確認情報」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0041	装置状態の設定に失敗しました。 (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0053	接続確認を行います。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0055	接続確認画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0056	接続確認処理に失敗しました。 (xxx)	ネットワークの状態が正常かどうか確認します。
RMG_0058	接続確認に成功しました。	なし。
RMG_0181	E-mail アドレスに誤りがあります。	正しく入力します。
RMG_0182	管理者か実施者少なくとも一方は「通知する」に設定してください。	
RMG_0183	【結果通知先E-mailアドレス】を入力してください。	

テーブル 23: 「接続確認」画面または「接続確認情報」画面のメッセージ

「接続確認結果」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	

テーブル 24: 「接続確認結果」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0056	接続確認処理に失敗しました。 (xxx)	ネットワークの状態が正常かどうか確認します。
RMG_0058	接続確認に成功しました。	なし。
RMG_0185	接続確認画面表示処理に成功しました。	

テーブル 24: 「接続確認結果」画面のメッセージ

「センター接続一時停止」画面または「センター接続再開」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0041	装置状態の設定に失敗しました。(xxx)	
RMG_0059	REMCS センターとの接続を停止しますか。よろしいですか。	「OK」ボタンまたは「キャンセル」ボタンをクリックします。

テーブル 25: 「センター接続一時停止」画面または「センター接続再開」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0060	REMCSセンターとの接続を再開しました。	なし。
RMG_0061	REMCS センターとの接続を停止しました。	
RMG_0062	REMCS センター接続停止画面表示処理に成功しました。	
RMG_0063	REMCS センター接続再開画面表示処理に成功しました。	
RMG_0064	REMCS センターとの接続を再開しますか。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0092	現在、設定未完了のため実行できません。	レジストレーションが完了してから実行します。

テーブル 25: 「センター接続一時停止」 画面または「センター接続再開」 画面のメッセージ

「ハード構成情報送信」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0130	ハード構成情報送信画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0132	ハード構成情報の送信を行いました。	
RMG_0133	ハード構成情報の送信に失敗しました。(xxx)	ネットワークの状態が正常かどうか確認します。

テーブル 26: 「ハード構成情報送信」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0136	REMCS センターにハード構成情報を送信します。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0138	ハード構成情報送信処理を起動しました。送信結果をイベントログ参照画面で確認します。	送信結果をイベントログ参照画面で確認します。
RMG_0140	ハード構成情報送信処理を起動しました。	なし。

テーブル 26: 「ハード構成情報送信」 画面のメッセージ

REMCS CE メニュー初期画面の項目

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0009	CE 操作初期画面表示処理に成功しました。	なし。

テーブル 27: REMCS CE メニュー初期画面の項目

「環境詳細設定」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0006	接続形態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	
RMG_0015	入力値に指定できない文字が含まれています。	入力値を修正します。
RMG_0016	入力値が範囲外です。	
RMG_0018	登録情報の取得に失敗しました。 (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0019	環境詳細設定画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0021	REMCS 環境データの登録に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0022	環境設定の登録を行いました。	なし。
RMG_0023	環境設定の登録に成功しました。	

テーブル 28: 「環境詳細設定」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0030	POP サーバを指定する場合は、 【ユーザー ID】 / 【パスワード】 / 【POP サーバ】 を指定してください。	POP サーバの仕様を修正します。
RMG_0031	AUTH SMTP 認証情報の指定に誤りがあります。 AUTH SMTP 認証を指定する場合は、 【ユーザー ID】 / 【パスワード】 を指定してください。	AUTH SMTP の仕様を修正します。
RMG_0036	入力必須項目です。正しく入力します。	正しく入力します。
RMG_0037	環境設定の登録を行います。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0181	E-mail アドレスに誤りがあります。	正しく入力します。
RMG_0189	環境設定が完了するまで REMCS センターへの通報は行われません。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0208	【分割サイズ】 の入力値に誤りがあります。64～512 の範囲で指定してください。	正しく入力します。
RMG_0226	IPv6アドレスの指定に誤りがあります。	
RMG_0227	リンクローカルアドレス指定の場合、ネットワークI/Fは必須です。	
RMG_0228	リンクローカルアドレス指定ではないので、ネットワークI/Fは不要です。	
RMG_0250	【HELO/EHLOに指定するドメイン名】 に誤りがあります。	

テーブル 28: 「環境詳細設定」 画面のメッセージ

「接続先REMCSセンターの設定」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0018	登録情報の取得に失敗しました。(xxx)	
RMG_0027	装置状態の変更に失敗しました。	
RMG_0097	接続先一覧ファイル情報の取得に失敗しました。(xxx)	
RMG_0098	接続先 REMCS センター変更画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0099	接続先 REMCS センターの設定に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0100	接続先 REMCS センターの設定処理に成功しました。	なし。
RMG_0101	接続先 REMCS センターを設定しました。	
RMG_0102	接続先 REMCS センターを設定しました。レジストレーションを実行してください。	レジストレーションを実行します。
RMG_0103	接続先 REMCS センターを設定しました。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。

テーブル 29: 「接続先REMCSセンターの設定」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0172	出荷先取得処理に失敗しました。 (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0247	【REMCSセンター】には専用保守センターが設定されています。	なし。
RMG_0248	接続先センターリストに設定可能なREMCSセンターが存在しません。 【接続先センターリストの入れ替え画面】から、正しい接続先センターリストに入れ替えてください。	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0249	【REMCSセンター】には専用保守センターが設定されています。他の専用保守センターへ変更が必要であれば、【接続先センターリストの入れ替え画面】から操作を行ってください。	別のセンタへ変更したい場合は、[接続センタリストの入れ替え] の操作を行ってください。

テーブル 29: 「接続先REMCSセンターの設定」画面のメッセージ

「日本語/英語の切替え」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0041	装置状態の設定に失敗しました。(xxx)	

テーブル 30: 「日本語/英語の切替え」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0162	日本語/英語切替え画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0163	言語を切替えると、接続先 REMCS センターが変わるため、レジストレーションが必要です。 [OK] をクリックした場合は、REMCS メニューからレジストレーションを行ってください。接続先 REMCS センターを変更しない場合は、[キャンセル] をクリックしてください。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0164	日本語の切替えに失敗しました。 (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0165	英語の切替えに失敗しました。 (xxx)	
RMG_0166	日本語切替え処理を行いました。	引き続き、レジストレーションを行います。
RMG_0167	英語切替え処理を行いました。	
RMG_0190	日本語/英語切替えを行います。 よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0240	日本語/英語切替えを行います。 切り替えを行うと再度レジストレーションが必要になります。よろしいですか。	

テーブル 30: 「日本語/英語の切替え」 画面のメッセージ

「装置ID/ユニーク名の切替え」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0104	装置名表示の切替えを行います。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0105	装置名切替え画面開設に成功しました。	なし。
RMG_0106	装置名表示の切替えを行いました。	

テーブル 31: 「装置ID/ユニーク名の切替え」画面のメッセージ

処理進捗表示画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0239	進捗状況ファイルの削除に失敗しました。	
RMG_1810	イベント実行子プロセスの作成に失敗しました。(xxx)	

テーブル 32: 処理進捗表示画面のメッセージ

「個人情報削除」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0195	個人情報削除。 よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0196	個人情報の削除に失敗しました。 (xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0210	個人情報削除画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0211	指定されたファイルはアップロードできません。	ファイル名を正しく入力します。

テーブル 33: 「個人情報削除」画面のメッセージ

「証明書の入れ替え」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0033	入力されたディレクトリが正しくありません。	正しくディレクトリを入力します。
RMG_0036	入力必須項目です。	項目の入力をします。

テーブル 34: 「証明書の入れ替え」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0142	入力されたディレクトリにファイルが存在しません。	入力したディレクトリ名およびファイル名を確認し、正しく入力します。
RMG_0211	入力されたファイルはアップロード対象外です。	ファイル名を正しく入力します。
RMG_0212	証明書のアップロードに失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0214	証明書の入れ替え画面表示処理に成功しました。	指定した証明書が正しいかを確認します。
RMG_0215	入力情報の確認画面表示処理に成功しました。	
RMG_0224	現在使用している証明書と同じため、インポートする必要がありません。	

テーブル 34: 「証明書の入れ替え」画面のメッセージ

「証明書の確認」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。 (xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0041	装置状態の設定に失敗しました。(xxx)	
RMG_0216	証明書の入れ替えを行います。証明書の入れ替えを行うと、接続確認が完了するまで REMCS センターへの通報は行われません。よろしいですか。	「OK」 ボタンまたは「キャンセル」 ボタンをクリックします。
RMG_0217	証明書の確認画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0218	証明書の入れ替えに失敗しました。証明書の入れ替えをやり直してください。(xxx)	証明書の入れ替えを再度行います。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0219	証明書の入れ替えに成功しました。	なし。
RMG_0237	REMCSセンターと通信中のため、証明書の入れ替えはできません。しばらく待ってから、もう一度証明書の入れ替えを行なってください。	しばらく待ってから、もう一度やり直してください。

テーブル 35: 「証明書の確認」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_1810	イベント実行子プロセスの作成に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。

テーブル 35: 「証明書の確認」画面のメッセージ

「前証明書への復元」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0001	装置状態の取得に失敗しました。(xxx) (MachineID=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0041	装置状態の設定に失敗しました。(xxx)	
RMG_0220	前証明書への復元画面表示処理に成功しました。	なし。
RMG_0221	前証明書への復元に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0222	前証明書への復元に成功しました。	なし。

テーブル 36: 「前証明書への復元」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0236	前証明書が復元されます。前証明書への復元が進むと、接続確認が完了するまで、REMCSセンターへの報告は行われません。よろしいですか？	「OK」ボタンまたは「キャンセル」ボタンをクリックします。
RMG_0238	REMCSセンターと通信中のため、前証明書への復元はできません。 しばらく待ってから、もう一度前証明書への復元を行なってください。	しばらく待ってから、もう一度やり直してください。
RMG_1810	イベント実行子プロセスの作成に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。

テーブル 36: 「前証明書への復元」画面のメッセージ

「証明書の表示」画面のメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0223	証明書の表示画面表示処理に成功しました。	なし。

テーブル 37: 「証明書の表示」画面のメッセージ

「証明書の表示」画面のメッセージ (SSL)

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0229	SSL 証明書が存在しません。	なし。

テーブル 38: 「証明書の表示」画面のメッセージ (SSL)

[接続センターの一覧の置換] ウィンドウのメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0002	画面データの展開に失敗しました。(xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。
RMG_0004	CGI パラメーターに誤りがあります。	
RMG_0036	入力必須項目です。	正しく入力します。
RMG_0242	接続センターリストを入れ替えます。よろしいですか。	「OK」ボタンまたは「キャンセル」ボタンをクリックします。
RMG_0243	接続先センターリストを変更した場合、REMCS センターに通知されません。再度レジストレーション操作を行ってください。 接続先センターリストを変更しますか？	
RMG_0244	接続先センターリストの入れ替えフレームの表示が完了しました。	なし。

テーブル 39: [接続センターの一覧の置換] ウィンドウのメッセージ

メッセージコード	メッセージ	アクション
RMG_0245	無効な接続先センターリストファイルが指定されました。	正しいファイルを入力します。
RMG_0246	接続先センターリストが変更されました。	なし。
RMG_0247	【REMCSセンター】には専用保守センターが設定されています。	なし。
RMG_1126	二重装置データの同期に失敗しました。(file=xxx)	再度実行して失敗する場合は、REMCS の画面を終了し、再度画面を起動し実行します。再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。

テーブル 39: [接続センターの一覧の置換] ウィンドウのメッセージ

8.2 通信エラーメッセージ (SMTP 通信)

通信処理でエラーが発生した場合に画面に表示されるエラーメッセージを、以下に示します。

通信エラーメッセージには対処方法も表示されるので、参照して対処してください。対処しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡してください。

なお、メッセージの RL は REMCS ライブラリ復帰値、ML はメール送信部復帰値です。

メッセージ コード	メッセージ
RMG_2000	(SMTP)有効なメールアドレスがありません。 E-Mail アドレスが正しく設定されていません。 RL:xxx,ML:xxx
RMG_2001	(SMTP)メモリが不足しています。 不要なアプリケーションを終了後、再度操作を実施してください。 RL:xxx,ML:xxx
RMG_2002	(SMTP)ファイルアクセスエラー。ファイルがありません。以下のことを確認してください。 ー/var/ 配下の残りディスク容量は十分か RL:xxx,ML:xxx
RMG_2003	(SMTP)通信のタイムアウトエラーです。 数分後に再度トライしてください。 再度トライしても同じ現象の場合は、メール (SMTP) サーバとの通信回線および SMTP サーバの起動状態を確認してください。 RL:xxx,ML:xxx

テーブル 40: 通信エラーメッセージ (SMTP 通信) 一覧

メッセージ コード	メッセージ
RMG_2004	(SMTP) メール (SMTP) サーバ上のエラーです。 以下のメッセージを参照して、環境を見直してください。 (SMTP サーバのエラーメッセージ) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX RL:xxx,ML:xxx
RMG_2005	(SMTP)メール(SMTP)サーバに接続できません。 SMTP サーバとの通信処理でエラーが発生しました。 以下の原因が考えられます。 –SMTP サーバ名が間違っている –DNS 運用している場合に DNS サーバが動作していない –SMTP サーバとの通信回線の異常 (SMTP サーバのエラーメッセージ) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX RL:xxx,ML:xxx
RMG_2006	(SMTP)メール(SMTP)サーバに接続できません。 以下の原因が考えられます。 –SMTP サーバ名が間違っている –DNS 運用している場合に DNS サーバが動作していない –SMTP サーバとの通信回線の異常 –IPv6 リンクローカルアドレスで指定されたネットワーク I/F が誤っています。 (SMTP サーバのエラーメッセージ) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX RL:xxx,ML:xxx\n

テーブル 40: 通信エラーメッセージ (SMTP 通信) 一覧

メッセージ コード	メッセージ
RMG_2007	(SMTP)メール (POP3) サーバとの間でエラーが発生しました。 POP before SMTP の認証に失敗しました。 以下の原因が考えられます。 –POP3 サーバ名が間違っている –ユーザー名に誤りがある –パスワードに誤りがある (POP3 サーバのエラーメッセージ) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX RL:xxx,ML:xxx
RMG_2008	(SMTP)メール (POP3) サーバとの間でエラーが発生しました。 POP3 サーバとの通信処理でエラーが発生しました。 以下の原因が考えられます。 –POP3 サーバ名が間違っている –DNS 運用している場合に DNS サーバが動作していない –POP3 サーバとの通信回線の異常 (POP3 サーバのエラーメッセージ) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX RL:xxx,ML:xxx
RMG_2009	(SMTP) メール (POP3) サーバとの間でエラーが発生しました。 POP3 サーバとの通信でタイムアウトが発生しました。 –POP3 サーバとの通信回線の異常 –POP3 サーバが起動していない RL:xxx,ML:xxx

テーブル 40: 通信エラーメッセージ (SMTP 通信) 一覧

メッセージ コード	メッセージ
RMG_2010	(SMTP) メール (POP3) サーバとの間でエラーが発生しました。 POP3 サーバ名に誤りがあるか、POP3 サーバが起動していません。 以下の原因が考えられます。 – POP3 サーバ名が間違っている – DNS 運用している場合に DNS サーバが動作していない – POP3 サーバとの通信回線の異常 – IPv6 リンクローカルアドレスで指定されたネットワーク I/F が誤っています。 (POP3 サーバのエラーメッセージ) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX RL:xxx,ML:xxx
RMG_2011	(SMTP) メール (SMTP) サーバとの間でエラーが発生しました。 SMTP サーバで認証エラーが発生しました。 指定されたユーザ名、パスワードに誤りがあり、SMTP サーバで認証できませんでした。 (SMTP サーバのエラーメッセージ) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX RL:xxx,ML:xxx

テーブル 40: 通信エラーメッセージ (SMTP 通信) 一覧

メッセージ コード	メッセージ
RMG_2012	(SMTP) メール (SMTP) サーバとの間でエラーが発生しました。 指定された SMTP サーバが AUTH 認証に対応していません。また は、指定された AUTH 認証形式に SMTP サーバが対応していま せん。 以下の原因が考えられます。 –SMTP サーバの指定が間違っている –指定した AUTH 認証形式が間違っている (SMTP サーバのエラーメッセージ) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX RL:xxx,ML:xxx
RMG_2013	(SMTP) メール (SMTP) サーバとの間でエラーが発生しました。 SMTP サーバは指定した暗号化接続の形式に対応していません。暗 号化接続の形式を確認してください。 RL:xxx,ML:xxx

テーブル 40: 通信エラーメッセージ (SMTP 通信) 一覧

8.3 その他のエラーメッセージ

上記以外のエラーメッセージが表示された場合は、REMCS 画面を終了し、再度
REMCS 画面を起動し実行してください。

再度実行しても現象が変わらない場合はサポートセンターに連絡します。

9 REMCS GUI 使用上の注意点

9.1 REMCS GUI を使用するためのプライバシー設定

REMCS GUI は、iRMC Web インターフェースから REMCS のメニューを選択すると別ウィンドウで表示されます。

このとき、Web ブラウザを使用する PC などに Symantec 社の「Symantec Client Firewall」や「Norton Internet Security」などのファイアウォール機能を持つセキュリティソフトウェア製品をインストールしている場合、初期値設定により Cookie や参照元の情報を遮断することがあります。この場合、下記のメッセージ画面が表示されます。

接続されていません。

また、REMCS の画面は表示されません。Cookie や参照元の情報をブロックしないように設定を変更する必要があります。

「Symantec Client Firewall」を使用している場合の設定手順は以下のとおりです。その他のソフトウェア製品につきましては、各製品のマニュアルおよびヘルプを参照してください。

1. Symantec Client Firewall を起動して画面を表示します。
2. 「プライバシー制御」を選択し、「設定」ボタンをクリックします。
3. 「プライバシー制御」画面が表示されるので、「カスタムレベル」ボタンをクリックします。
4. 「プライバシー設定のカスタマイズ」画面が表示されるので、「Cookie 遮断」で「なし : Cookie を許可します」を選択し、「ブラウザプライバシーを有効にする」チェックボックスをオフにして、「OK」ボタンをクリックします。
5. REMCS GUI を表示後、iRMC Web インターフェースの**設定 - サービス - Web アクセスのセッションタイムアウト**で設定された時間内に何も入力がない場合は、接続が切断されます。

9.2 シングルユーザーアプリケーション

REMCS GUI の複数起動が抑制されます。REMCS GUI は同時に 1 ユーザーしか使用できません。

別のユーザーが現在ログインしている場合は、次の**強制ログアウト画面**が表示されます。

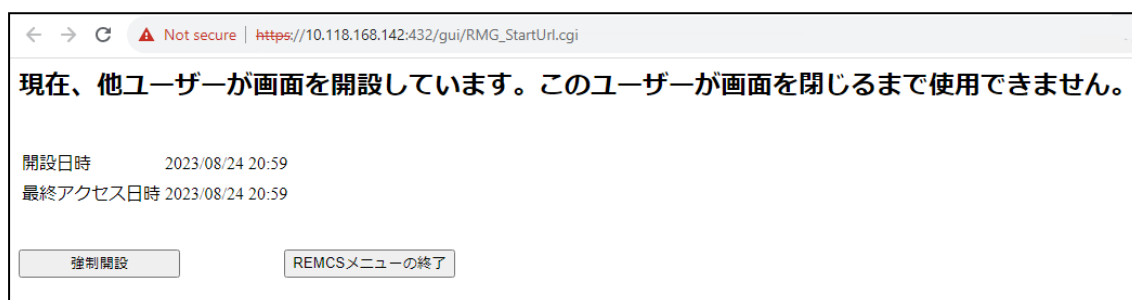


図 64: 強制ログアウト画面

「REMCS」メニュー強制開設

現在実行中の他のユーザーのセッションを強制して終了し、「REMCS」メニューで新しいセッションを開きます。

もう一方のユーザーは、強制によってセッションが終了したという情報を受け取ります。この情報は「**セッション終了**」画面に表示され、古いセッションでアクションを要求（操作または更新）すると発生します。

終了

REMCS メニューは使用できません。

現在ログインしているユーザーについては、何も変更はありません。

「**セッション終了**」メッセージは、強制的にこのセッションを終了した場合に、古いセッションのユーザーに表示されます。この情報は、古いセッションでアクションを要求（操作または更新）すると発生します。

もう一方のユーザーはこの状況を受け入れ、「**終了**」ボタンでメッセージを終了します。



図 65: セッション終了メッセージ

9.3 外部タイムゾーンの変更

iRMC Web インターフェースからタイムゾーンを変更した場合、REMCS センターの情報を更新するため、以下の操作を実行してください。[34 ページの 定期接続スケジュール設定](#)

REMCS の定期接続スケジュールは、現在設定されているタイムゾーンで解釈されます。